



金方藥註

二

十武
504
2



武門
第40
卷2

岡氏
齋

千金方藥註卷之二

平安 松典子敕 著

男司衡景文 校

草部上

人參。番名ヒトヲル紅一名ヘイシイカルヤ上同和名カノニゲ
クサ一名クマノ井並古訓或人云堪囊鈔二人參ハ鹿殊ニ好ミ
食フ故ニ鹿齧草ト云凡ソ獸類ノ物ヲ食フヲ齧ト云ベキヲ
人誤テニレカムト云又云梁史ニ阮孝緒ガ母病シニ人參ヲ
求メ山中ニ入テ尋シニ鹿ノ山ヘ入ルニ隨ヒ行キ鹿ノ止マ
ル處ヲ掘レバ得タリ鹿逃タリ此ノ故事ヲ以テ名クカト云

千金方藥註

卷之二

草部上

一

ヘリクマノ井ハ東雅云此訓未詳神ノ和名ヲクマ氏云ハ
人參一名神草ト云ニヨリテカ又其味苦ネ帶タル故カト人
參ノコト用藥須知及ビ廣參品ニ詳ナリ松前人云蝦夷ノ箱
館ト云處ニ島人參アリ形色氣味全ク韓參ノ如シ此ノ參四
分ヲ用ユレハ切韓參一分ニ敵スト云ヘリ上黨參即チ紫團
參ナリ潞安府志云唐韓偓送客之上黨詩佳期別在春山裡應
是人參五葉齊原出壺關紫團山舊有參園今已墾而田矣而索
者猶未已

赤 白朮、蒼朮、和名 ヲケラ一名ウケラウケラハヲケラノ轉ナ
リ古白蒼ノ別無シ宋以後分チテニトス蒼白ノ名ハ皮毛ノ

色ヲ以テ分ツ肉ハ俱ニ白シ白朮ハ漢渡ヲ用ベシ本邦老根
ヲ白朮トシ嫩根ヲ蒼朮トス然レモ和産ハ老嫩俱ニ蒼朮ナ
リ白朮稀ニアリ江戸道灌山ノ者真ナリ市家茶碗様天目様
ト呼モノ極メテ大ナリ一名大白朮一名圓白朮ト名ク福島
地方ヨリ出ツ又真ナリ又川白朮片白朮アリ功力劣ル蒼朮
漢渡ハ味苦辣下品ナリ不可入藥和産ハ風栗様ト呼モノチ
ヨリクス但馬信濃陸奥會津遠江横須賀ヨリ出ス信濃ハ大
ナリ液アリ佳ナラズ丹後三好蒼朮至テ小ニメ筋無シ此蒼
朮中ノ根皮ニメ氣味薄ク脂無シ不堪用木版等ノ墨年久メ
不脱和ノ蒼朮爲末水ニテ調へ洗フ即チ脱ス白朮葉白朮ハ

甘草 番名クキリンチヤ 紅毛若水先生曰葍商南天燭莖ヲ以テ

雜へ貨ル宜擇用

桔梗 和名キチカウ 和歌アリノヒアフキ大小二種アリ市家

揚枝様ト呼モノハ小シ即チ三原桔梗ナリ相馬ト呼ヒノハ

大シ大小俱ニ堅實ノモノヲ用ベシ白色ノモノハ米泔水ニ

テ晒ス故ニ功カ薄シ山出シノモノヲ用ベシ赤花ノ者アリ

丹波宇津山中ニ生ズ桔皮桔梗ノ皮ナリ或名節皮

半夏 番名ヘフスカナアヘンクルイト 紅毛和名カタホソ江

名狐ノシヤクシ一名シヤクシクサ一名カラスノナスビ一

名カラスヒシヤク 京一名ミヅタマサウ 江一名ヘホソ濃

名ヘンボサウ 木一名カラスノシヤク 舟一名ヘビス 仙一名

クツナ 伊豫大洲伊豫大洲皆名島ヨリ出ス故ニ名ク陸奥田村郡

及ビ會津ヨリモ出ス打撲青紫癩痕ニ半夏末水ニテ調へ傳

ク一夜ニメ愈ユ仁壽堂藥鏡云半夏往來寒熱在表裏之中故

用此有各半之意本以治傷寒之寒熱所以名半夏ト

黃芩 市家ニ真ト呼モノハ山城ニテ作ル粘アリ不_ナ朝鮮ト

呼モノハ薩摩ヨリ來ル色深黄ニメ濕アリコレヲ折レバ枉

ミテ斷折セズ苦味峻ニメ氣薄シ俱ニ用ベカラズ漢種 官

園ニアリ莖全ク千屈菜ニ似テ直上メ末_{サキ}仁小枝アリ葉狹長

ニメ尖リ微シ硬ク毛アルニ似タリ葉密ナリ花穂ヲ成シ簇

生ス千屈菜花ノ如シ赤紫ノ二色アリ市家ヒラ様ト呼モノ
ハ片芥ナリ大ナルモノヲ破リ中ノ腐ヲ去テ扁タメタルナ
リ是佳ナリ用ヘシ子芥弘景ハ圓者名子芥東璧曰子芥乃新
根多内實即今所謂條芥ト云ヘリ

黄連 番名 シツヘインテイカ 紅毛 和名 カクメ 古訓 按ニ草津ノ油

ヲ掠取ル草ヲカクメト名ク黄連ヲ以テ取ルカ或ハ似タル
ヲ以テ誤リ稱スルカ未詳黄連加賀陸奥會津出羽秋田上品
越前越後村上次之其外佐渡下野日光山山城叡山貴船鞍馬
讚岐因幡近江丹波龜山陸奥米澤朝妻田村郡ヨリ出ス佐渡
加賀ハ菊葉ナリ叡山ハ五加葉ナリ日光ハ三葉ナリ鞍馬貴

船ハ芥葉ナリ讚岐ハ川芎葉ナリ根雞爪鷹爪ノ如キモノ最
良シ俗ニ蝦黄連ト呼フ又圓葉ノモノアリ越後村上ノ者ニ
種アリ小ナルヲ小見山黄連ト呼ビ大ナルヲ三面山黄連ト
呼ブ近江ヨリ出ル者ハ根細シ又牡雞脚黄連アリ即チ羊蹄
根ナリ

柴胡 和名 ノゼリ一名土茺 周防 處々ニ生ス鎌倉柴胡紀伊上品

日向薩摩次之方書ニ銀柴胡アリ銀州ノ者即カメクラ柴胡
ナリ今市家ノ銀柴胡ハ茵陳根ナリ用ベカラズ山城白川山
ニ螢草アリ即チ救荒ニ獐牙菜ト名ク此柴胡ニ近キ者ナリ
代用ベシシヤグメ柴胡ハ白頭翁ナリ鈴柴胡ハ徐長卿ナリ

俱ニ柴胡ニ非ズ柴胡苗汁柴胡ノ葉莖ノシル

玄參 先輩千鳥グサトスルハ非ナリ和名ゴマクサ本邦古ヨ
リアリ中比絶ヘテ出サズ近歳江戸道灌山ヨリ出ツ漢種
官園ニアリ形状和産ト相似テ小袴葉アリ生玄參汁玄參ノ
生ノシル

沙參

和名ヤマ大根

部南

一名シテンバ

筑紫

一名チソブ

木曾

一名ト

トキ人參

但馬

一名シマクシナ

部南

一名キヤウモドキ

山科

一名

ビシヤク江近大和葛上郡戸毛村多出ス飯上ニテ蒸製ス形大
參ニ似タリ極メテ大ニメ輕虚ナラズ味甚タ美ナリ漢種大
葉ノ者 官園ニアリ大葉ニメ花淺紫ナリ甲賀氏曰沙參ノ

名沙地ニ生スルヲ以テ名クルニ非ス沙橘ノ沙ニメ皮上ニ
沙アリ疣瘡多キヲ以テ名タトツル沙參一名キヤウカラ
クサ種樹 ツリカ子カツラ江即チ羊乳根ナリ市家ニ和ノ沙
參ト呼ブ莖紫色一處ニ四五葉著ク花大ニメ白色紫赤斑文
アリ莖葉極メテ臭ク折之白汁出ツ根大ナリ

黄精 諸國ヨリ多ク出ス河内金剛山上品近江高島次之武藏
前澤又次之又南部四尾多美山ノ幕内山ノモノ形状華産ト
同ジ和産ハ微シ苦シ紫莖作筆管モノ真ナリ青莖ノ者ハ筆
管ヲ作サズ又山城嵯峨法輪寺ノ後山ニモ生ス

地黄 生地黃乾地黄生ハナクナルモヲナリ市家ノ生地黃

ハ乾地黄ナリ家園ニ種工用ル時掘リ使フベシ山城上品大和次之備前筑前又次之然ルニ近歲南山城ニ種ル者種ヲ備前ニ取テ種ユ大和ハ利少ナキヲ以テナリ種地黄ニハ竹籠ヲ以テ二三寸許ニ切テ栽レハ能ク活ス地黄汁根ノシル生地黃汁同シ地黄葉地黄花地黄ノハトハナ

丹參 今醫家用ヒス故ニ近來漢渡無シ和産稀ニアリ綱目附

方ニ丹參酒アリ中風ニ用テ驗アリ

天門冬 和名スヘルクサ訓一名クサスギカヅラ人家處々

レヲ種ユ昔年山城如意嶽肥後阿蘇山ニアリ今存スルヤ否ヲ知ラズ

升麻 漢渡ヲ用ベシ 和名ミヅフデ 肥後一名サラシナ河内金

剛山上品備中平福豊前中津次之其外諸國ヨリ出ツ落新婦

白花ノモノヲ飯モリト名ク山城白川山ニアリ種類多シ迎

江ノモノハ葉大丹後ノモノハ葉草シモツケニ似テ大岐缺

アリ花白シ一種圓葉ノ者アリ又市家ホタル草葉ニ似テ花

胡黃連ニ似タル者ヲ大升麻トス真ニ非ス 本邦升麻三枝

九葉三枝三葉ノ者真ナリ朝鮮ハ根黒ク擁腫シ大ナリ蜀升

麻川升麻蜀ノ川中ヨリ出ルヲ以テ名ク雞骨升麻用藥須知

二見ユ一名シカナ 紫 筑
 羌活 附獨 羌活 和名 ウドモドキ 山城 雲畑 總木芽亦ウドモドキト

草部上

名ク名護屋ウドハ別ナリウドノ類ナリ市家莖ヲ菴活トシ
 根ヲ獨活トス華産ハ二物ナリ唐菴活ハ氣峻シ菴活山城嵐
 山ノ者ハ細葉ナリ香氣甚シ獨活和名ウド備中平福安藝廣
 島出羽最上ヨリ出ス上野菴活ハ獨活ナリ獨活ハ緊實菴活
 ハ輕虚ナリ

荊芥 番名ホロヲメシナ紅毛衄血不止荊芥穗一味煎服ス即チ
 止ム去風故ナリ

芍藥 番名ヘヤウニヤア紅毛和名カホヨクサ異名婪尾春清異録
 山城ヨリ多ク出ス唐ハ色潔白味甚佳ナリ和ハ色白トイヘ
 凡味微シ豆氣アリ草芍藥日向ニテ多野芍藥ト呼フ野芍藥

アリ謝肇淅が鼓山志ニ見ユ赤芍藥白芍藥白芍藥説用藥須
 知ニ見ユ

芍藥 番名ヘイトロニ紅毛即チ川芍ナリ或人云和名ヲシナガ
 ヅラ漢種上品ナリ蕪用藥須知ニ出ツ

前胡 和名ミツバクサ一名ノダケ筑前一名山ミツバ山城白川一名タニゼリ京處々多アリ花紫白ノ二色アリ大和上品備
 中平福安藝廣島次之三種アリ山城ハウドニ似タリ又アサ
 ミニ似タルアリ又車前ニ似タルアリ藥家ニ小前胡ヲ上品
 トス

麻黄 和名ノドクサ越前一名犬トクサ京一名スナトクサ江

草部上

一名水トクサ種樹家 説一家言ニ出ツ麻黄根麻黄ノ子

當歸 花名一品花香祖 和名ヨメノワン津 一名カハセリ **番名**

ヘンヘナシ紅毛 大和山城上品越後次之丹後官津ヨリモ出ツ

蜀當歸蜀川ヨリ出ル當歸ナリ隴西當歸隴西ヨリ出ル當歸

ナリ

薯蕷 即チ山藥ナリ近歳山城ニテ作ル是培養ノ者ニメ性功

劣ル因幡大和上品伊賀中品山城下品ナリ南部ノ者尤勝ル

藥家ノ者ハ生ナル時湯ニ煮テ皮ヲ剥ス故ニ香味脱ス凡ソ

使フニ生ナル時皮共ニ寸ニ切り乾メ後皮ヲ去テ用ヘシ

紫菀 **番名** ヘタカンタ紅毛 生蘇蘇葉同ジシソノハ生ハナマナ

リ紫蘇子。蘇子同ジシソノ三紫蘇莖葉クキハ乾紫蘇ホシタ

シソノハハス入ラス

遠志 一名小草 **和名** コハギ 一名スバメハギ 一名シバハギ

一名ヲニガホ丹後 處々山野ニ生ス葉石血ニ似タリ三四月

淡紫花ヲ開ク大葉ノ者ハ葉黃揚ニ似タリ叡山ニ生ス京四

邊ノ者ハ根細小用ニ堪ヘズ大和芳野河内和泉紀伊熊野ヨ

リ出ツ熊野和泉河内ハ大葉ナリ入藥用ユヘシ又紅花ノ者

アリ

通草 即チ木通ナリ **和名** アケビカツラ 近 一名アタバ 和 一名

タンホ、若 一名アケベ 遠 一名ウスイサウ 一名ヲトリハナ

思邈通脫木ヲ一トス誤レリ一種常盤アケビアリ即チ詔子
ニメアケビノ一種ナリ

麥門冬

異名護階草

江都新志

和名ムサシモツカウ

賀一名山スデ

番名マシアルフジ一名ラアテキス

紅毛種樹家ニ

白道アルヲ

音羽蘭ト名ク入_ル藥ニハ大葉ノ者ヲ用ベシ紀伊上品廣島次
之_ニ中津為_下臘月掘_者ハ中空用ニ堪ヘズ正月二月ニ採ヘシ

白芷

漢渡上品ナリ和産鈴鹿管根ニ多シ

和名ヨロイクサ

古名

信濃一名サイキ

野田

一名馬ゼリ

信濃

一名山ウド

伊勢

一名ウム

セク高サ六尺ニ及ブ子苗香ノ如シ花ヲ著ケバ根枯ル莖ヲ
切レハ竹筒ノ如シ人以テ烟筒トス甚々寒ヲ畏ル秋末掘出

シ苞直ニ包ニ沙中ニ埋ニ明年二三月ニ至リ取出シ植ベシ

藥家以テ人參ヲ偽ル吸口様車切様ノ二種アリ車切ヲ上ト

ス江戸ニテ丸山白芷ト云モノハ土當歸ナリ佐渡ニテ蒟藟

ヲサイキト名ク名同ク物異ナリ隴西白芷隴西ヨリ出ル白

芷ナリ白芷片ヘギ白芷白芷根白芷ノ子白芷根葉子トハト

白芷黄黄ハ香ノアヤマリ百一選方ニ頭痛ヲ治スル都梁凡

アリ白芷為末糊ニテ丸服ス都梁香ハ白芷ノ一名ナリ

香附子

一名雀頭香

和名バレン

但馬

番名アラテキス

ウワテキ

ス_{紅毛}處々原野ニ生ズスゲカヤツリノ附子アル者ナリ藥

家ニ住吉香附子アリ

松蘿

異名 榎藤 車物 紺珠

和名 サルヲカセ 泉 一名ハナコケ 一名

マツノホヤー一名シラガコケ一名キヒケ 越 一名弘法ノ珠數
ノ變化一名クモアカ 身延 山 松ノ木ニ蔓ヲ作メ下壑ス細緑ノ
糸ノ如シ熊野山中ノ者ハ長一丈ニ及ブ山城山中ノ者ハ僅
ニ四五寸色淡白ナリ詩經廣大云女蘿松蘿也毛傳以為即
兔絲非是

蕪荑根

和名 ヲヨミ 一名ガラミ 西 一名犬ブドウ 一名ノブド

ウ一名犬エビ 筑 前 一名イヌガ子ブ一名カラシ 伊 賀 一名ヨロシ
備一名ヤブツル 狭 若 一名グンダ處々原野ニ蔓ヲ作メ生ス葉
色濃ク微黒ヲ帶ブ背ニ白毛アリ莖中ニ蟲アリ小兒ノ疳ヲ

治ス俗ニエビヅルノ蟲ト呼ブ誤ナリエビヅルハ葡萄ナリ
葉ヲ按ニ艾炷トメ疣ニ灸ス俗又呼テイボヌキト云

女萎 用藥須知後編ニ見ユ

菝葜

和名 コウタウイバラ 一名ガナイバラ 佐 渡 一名サンキラ

イイバラ 仙 臺 一名カメイバラ 筑 前 一名カメイグ 同 上 一名キシヤ
カテ 越 前 一名サンゲン 同 上 一名ミ、ツイバラ 備 後 一名ムカク
イバラ 佐 渡 一名フキダ 播 磨 一名カメノコウイバラ 筑 前 一名カ
ンタイイバラ 番 名 ノナリナ 紅 毛 大葉小葉ノ二種アリ小葉ノ
者ヲ吹玉ト呼ブ即チ東壁ガ所謂菝葜ナリ東壁大葉ノ者ヲ
以テ菝葜トス大小俱ニ菝葜ナリ秋紅實ヲ結ブ大葉ノ者ハ

葉柳葉ニ似タリ和ニコレヲ山歸來トス非ナリ山歸來ハ土
茯苓ナリ

赭魁 和産無シ漢土ニテ真臘^{シマムロ}漆ニ用ユ

白欵 [和名]カバミクサ [番名]イリヤウスイリウスト ^紅毛先輩以

テイワフダトス非ナリ漢種上品先君子曰白欵土鬪兒畢竟
一物ナリト

藁本 漢種上品和産ハ山城鞍馬ノ者上品ナリ

石龍芮 [和名]タ、ラビ一名タガラシ ^{加賀}越中一名ナ、クサ ^{近江}木原

一名タンガラ^伊勢一名タセリ^讚岐一名タ、ナヘ救荒野譜ニ油

灼灼ト名ク田野淺水中ニ生スナツナニ似テ小碎白花ヲ開

ク菹トメ食フベシ味微辛シ是東壁所指細葉ノ石龍芮ナリ
先君子曰石龍芮ハ和名血住^{テトメ}クサ一名ウツラクサト云モノ
是ナリ綱目ニ地光面ト名ク續醫說石龍芮ヲ以テ毛茛トメ
誤ル

旋復花 大葉ノ者ハ單瓣^ハ小葉ノ者ハ千葉ナリ又澤ヲダグルニ

アリ

突厥質 未詳^テ典按ニ疑クハ質ハ白字ノ誤ナラン突厥白紅毛

ヨリ來ル煉物ナリ狀白墨ノ如シ又按ニ質字誤リニ非ズン
バ突厥白ノ白ハ日字ノ誤リニメ質日音近キヲ以テ轉タル

ナラン

豕蹄實 蟲一 即馬蘭草 **和名** バレン 一名唐ラン 江種樹家ニアリ

アヤメニ似タリ花觀ルニ足ラズ市家ニ蘭花ヲ以テコレトメ貨ル誤ナリ

首蓓香 未詳謂フニヘンルウダカ

苦苣 **和名** 鬼タビラコ 好ンテ原野及ビ人家庭際籬垣ノ邊ニ

生ズ葉塌地脚葉肥大ニメ毛アリ春深シテ一莖ヲ抽ツ莖中

空ナリ折之白汁出ツ莖上極枝多シ小黄花ヲ開キ成采葉ヲ

採リ燻キ熟シ食ヘシ綱目苦菜ト混一ス誤ル

藥子 綱目黃紅白木苦ノ五種アルヲ云黃藥子ハ用藥須知續

編ニ出ツ甘家白藥ハ山慈姑ナリ餘ノ三藥子ハ未詳

延胡索 **番名** レツトルスホラル 紅毛漢渡用ベシ 或人云和産俗

ニシラウバウト呼ト典云和ハ近江伊吹ノ者佳ナリ山城貴

船鞍馬山中ニ生ス葉ハ野ゲマンニ似タリ二月深紫花ヲ開

ク根露出ス漢産半夏ニ似ズ今 官園ノ漢種大葉小葉ノ二

種アリ延胡先輩ガンゼキラン或ハ黃蔥ニ充ツ莖ニ誤ル

紫葳 **番名** ヲロムホラム 紅毛葳一作葳非ナリ

菊花 種類多シ劉蒙史正志カ菊譜ニ詳ナリ凡草木ノ花白ヲ

本色トス記ノ月令ニ菊有黃華ト惟菊ノ三黃ヲ本色トス然

レ凡入藥ハ黃白ヲ論ゼズ味甘キヲ用ヘシ莖葉花俱ニ甘キ

ハ甘菊ナリ李東璧引埋雅菊鞠也窮也花事至九月而窮盡ト

事物紺珠云菊鞠也聚鞠而不落ト典謂菊鞠也芳香可以掬也
甘菊甘ノ説上ニ見ユ鄧州甘菊花鄧州ノ者ヲ良トス菊花子
キクノタ子

忍冬

和名菩薩カヅラ **番名**メ、イヒヨス 紅毛花色々ニ變ズニ

十五菩薩ノ如シ故ニ名ク

艾

番名アルトニシヤ 紅毛本草新編ニ灸ニハ常ノ野生ノ艾ヲ

用ヘシト云ヘリ典曰入藥ニモ常艾ヲ用ヘシ伊吹ヨモギハ
真ノ艾ニ非ス或人云四國及ビ佐渡等ノ島ニ生スル常ノ艾
灸ニ用テ効力尤勝ルト椿井坂ニテ伊吹ヨモギヲヨモギ
ト呼ビ常艾ヲケヨモギト云艾ノコト艾草考ニ詳ナリ艾葉

生艾葉ヨモギノハ生ハナニバ粗艾トクトモニ又カ又ヨモ
ギ大艾炷大ニヒ子リタルモグサ熟艾用藥須知續編ニ出ツ
白艾同シ白外臺作熟白艾汁熟艾ヲ煮タルシル三月生艾三
月ニ採タルヨモギノナニハ艾蒿 **和名**沼ヨモギ一名伊吹ヨ
モギ

車前草

異名車鐵草 列子天瑞篇註一名蝦蟇衣 **番名**タンチヤセン一

名プアンタアコウ一名イレヘライト江都新志ニ紫苑即車
前草ト誤ル大葉ノ者 **和名**唐ヲ、バコ丹後加佐郡ニテ大葉
ノモノヲホバコト呼ビ小葉ノモノヲツ、バコト呼フ小
葉ノ者ハ下品ナリ又水ヲ、ハコアリ別物ナリ車前葉ヲ、

バコノハ車前根ヲ、バコノ子車前子ヲ、バコノ三車前根、葉子子トハト三車前穂兩岐ノ者火ヲ點メ邪祟ヲ照セハ形ヲ現ズ

青箱 **和名**ノゲイト一名イヌケイト一名キツ子モ青箱子花白黄ノニ色及ヒ淺紅ノモノアリ山城桂川邊ニ多シ花多ク著ク

葫藿 **和名**ニハタヅ一名サイキ渡佐一名ツチヒトカタ古名葫藿葉ニハタツノハ葫藿根葉子トハト葫藿根白皮子ノウチカハ葫藿灰灰ハクロヤキハ玉簪花 **和名**ギバウシ京ウルー陸奥一名ギボキナ太和佐渡紀伊高野

一名面クサ筑前一名山カンヘウ能登大小ノ二種アリ葉間道ノ者ヲブンテウ一名イハナト呼フ白暈ノ者ヲギンギボウシト呼フ又朝鮮ギボウシアリ最美ナリ可用田野ノ人嫩葉ヲ採リ燻熟シ茹トメ食フ信濃飯山ニテ莖ヲ燻熟シ食フガイロツハト呼フ然レハ齒ヲ損ズ多食スベカラズ能登ニテ莖ヲ日乾シ干瓢ニ代ヘ食フ

茜草 即チ茜根 **番名**ケレフウアカニホルイト紅毛山城山科ノ者良トス五六種アリ牛尾蒿水葫蘆ハ茜草ノ細葉ト云ベシ一種虎ノ尾草ニ似タル者アリ亦此類ナリ

紫草 **和名**子ムラサキ江戶薩摩武藏上品河内國分次之又陸奥

出羽遠江伊豫多ク出ス紫草汁ムラサキノシル紫草骨紫草
心同ジ即チ紫草茸ナリ

白芨 用藥須知後編ニ出ツ

夏枯草 和名 スイバナ 山城 一名ウバノチ、仙 一名シヒトノ

マクラ 和 一名トリゲクサ一名キツ子ノマクラ 同名 番名 ホ

ル子イラヌフロ子ル 紅 淋疾ニ一味煎服ススイバナウハノ

チ、同名アリ

牽牛子 異名 盆甕子 西陽 番名 ユロクラウン 紅 花數種アリ豊

後佐伯ニアリ

知母 和名 ヤマシ 多識 一名カラスノス、俗 一名カラスス

ゲ一名ハナスゲ毛詩ノ菑ナリ葉菖蒲ニ似タリ根鰓ノ如シ

漢種 官園ニアリ和産漢種ト全ク同ジ

藿香 按本草必讀類纂云市家多攙棉花葉茄葉假充不可不細

辨ト云ヘリ具藿香具國ヨリ出ル藿香ナリ瓠婁香用藥須

知續編ニ藿香トス按ニ此方中ニ瓠婁香藿香並ベ出ス金

光明經及ビ綱目ニ藿香トス蓋瓠婁婆ハ青葉カ

馬目毒公 即チ登休ナリ 和名 キヌカサクサ 加 一名ヲ、アサ

クルニ此物瘵疾ヲ治スル方中ニ入ル

藜荷 一名藜草藜荷根生藜荷根ミヤウガノ子生ハナニナリ

春月嫩ナル時食フベシ高野山ニテタコ菜ト呼フ白藜荷用

藥須知後編ニ出ツ白、藜、荷、汁、シロミヤウガノ根ノシル東向、
藜、荷、根其病人ノ居處ヨリ東ニ生ジタルミヤウガノ子

香藜 番名 ハシソコンヲ、イカメン 紅毛

香菜 和名 ヤマドリクサ即チ和ノ藜香ナリ真ニ非ラズ又香

藜羅勒モ香菜ノ名アリ

藜灰 アカザノクロヤキ藜 和名 赤アカザ春初生ノ時頂紅ナ

リ丹頂ノ頂ニ似タリ故ニ一名鶴頂菜ト云フ葉濶シ上品ナ

リ灰藜アリ 和名 アヲアカザ葉細シ夏月長ジテ葉上白ク灰

ヲ糝スルガ如シ食品ニ供ズ多食スベカラズ酔フナリ秦藜

藜アリ 和名 山アカザ 美濃 葉滑ニメ厚ク極メテ濶大ナリ山谷

間ニ生ズ伊勢大和ニモアリ藜紀伊ニテハ多種テ食ニ供ズ
京入食ハズ中條家清氣散ニ藜ヲ以テ主藥トス又藜莖人齒
脱スル者削リテ齒ノ形トシ挿ムベシ甚佳ナリ月令廣義ニ
蛇灰ヲ出ス即チ藜ナリ

石參 未詳

馬兜鈴 一名土青木香又省メ青木香ト云別ニ青木香アリコ

レト名ヲ同フス 和名 ムメノスバ 一名ノブチ 中 芽初テ生ズ

ルトキ蟻蛄ノ首ニ似タリ

青木香 青木、黄、黄、ハ香、字ノ誤ナリ

木香 番名 ヲ、クル、紅毛 漢渡無シ紅毛ヨリ來ル近歲漢土ヨ

リモ來ル根鬚無シ藥家碎ト呼モノハ根扁ナリ和産ハ丹後山城大和ヨリ出ス根鬚多シ漢種 官園ニアリ

斬菜 即チ芥水芥ナリ番名ア、リヘイトロア、リ紅毛水陸ノ

二種アリ陸地ニ種ルヲ島芥ト名ク形大色青シ味劣ル水中

自生スル者ヲ田芥ト名ク形小色黄ヲ帶ブ味最勝ル山城宇

治ノ者極メテ長大味美ナリ芥黒焼ニメ産前後ノ諸疾ヲ治

ス俗ニ傳フ芥菜四十二年ニメ一タビ種ヲ絶ス故ニ男子四

十二歳ノ厄ニ當ルモノ前年ヨリ食コトヲ忌ムト

紫菀 根ヲ煎シ面ヲ洗ヘバ色白クナル女菀用藥須知後編ニ出ツ真女菀同ジ

鬼臼 和名ヒクルニ一名ヤクルニ一名アサクサ一名ハウチ

ハクサ山城馭山及ビ木曾ニ多シ葉ハ毳ハサミノ如ク又箭

筈ノ如シ七葉ニ付ク綱目ニ有花無花ノ二種アルコトヲ

云ヘリ鬼臼葉鬼臼屑ヒクルマノハ屑ハ根ヲ末ニシタルナリ

貫衆 和名キシノ尾一名トラノヲ先輩シダトス非ナリ

胡荽 番名モン-ton 紅毛胡荽菜胡荽苗同シ苗ハ莖枝葉ヲ云浪

華ニ多ク種ユ甚タ生シ易シ幼幼新書ニ一名鴛不食草ト誤

ル胡荽子胡荽ノミ痘ヲ患ル者ノ屋中ニテ焼煙ニバ痒ヲ免ル

野菊 和名アブラキク一名千本キク一名イソヤキク一名カ

又菌毒ヲ解ス

モメイリ

齊頭蒿

[和名]上キナ

伊豫宇和島

一名カラヨモキ

椿井坂

山崎闇齋先

生コレヲ以テ著草トス誤ル牡蒿亦カラヨモキト名クコレ

ト名ヲ同フス

秦芹

九輪草或ハ狸々袴ヲ以テ充ルハ非ナリ

防已

[和名]ハクサカツラ一名アヲツ、ラ一名メツシカツラ

近江高官葛籠町ニ山ヨリ採り來り葛籠ニ作ル京ニテ云ツツラフヂト名同ク物異ナリ蔓生ス葉牽牛葉ニ似テ毛アリ漢防已木防已ノ二種アリ根ヲ漢防已トシ苗ヲ木防已トスルハ非ナリ木ハ木細辛ノ木ノ如シ木強ニメコハキコトナ

リ無用ノ意ニメ下品ナリ漢木俱ニ根ノ名ナリ葉ツタノ如ク岐アリ蔓ノ切口菊紋アルハ漢防已ナリコレヲ上品トス葉圓ク微シ尖リ切口ノ紋分明ニ見ヘサルハ木防已ニメ下品ナリ又此ノ類ニ芙蓉葉ノ如クニメ葉ノ中心ヨリ莖ヲツク者アリ**[和名]**ハスノハカツラト云フ漢中木防已漢中ヨリ出ル木防已ナリ

草薺

[和名]ヲニトコロ一名ニカトコロ李東壁所説ハ菝葜ナ

リ草薺山野叢薄中ニ蔓ヲ作メ生ス葉狹長ナリ花アリ一種モミチ葉ノ者アリ刺ナシ代醉編云多小便者煎草薺服之永不夜起

馬鞭草

和名

メハナキ一名クニツ、ラ蓬蒿ニ似タリ蘇恭曰

弘景蓬蒿ニ似タリト云ハ非ナリト恭カ説却テ非ナリ馬鞭

草一切腫物ノ腐ヲ止ムルニ莖葉或ハ根ヲ煎メ洗フ馬鞭草

根メハシキノ子馬鞭草汁メハシキノシル

益智子 治小兒遺尿ニ一味煎服ス妙ナリ代醉編益智今之龍

眼也名同物異ナリ

白芋 此ノ白芋何ヲ指スコトヲ知ラス又筑前ニシロイモア

リ與此別ナリ又番薯一名白芋名同ク物異ナリ

甘松 即チ甘松香ナリ今藥家排草ヲ以テ偽充ス宜擇用ニヒ

甘松ハ根蝦ノ如シ

王不留行

和名

道灌草一名ス、クサ江戸道灌山ニ生ス故ニ

名ク薩摩人參ニ似タリ江都新志ニ名木藍子醫學彙函云王

不留行本名剪金花蜀王素好此花後因降宋遷汴人言此花曰

王不留行ト云ヘリ槐葉ノ者ハ説翹搖菜ノ下ニ見ユ

芋 イモ種類多シ本草左卷ニ見ユ

蓮葉

和名

ハスノハ七月祖先ヲ祭ル洒水ニ用了ス

ルモノ陰乾シテ主藥ニ加入シ傷寒ノ熱ヲ解ス儲泳祛疑説

云燒荷花鬚末蚊悉遠去ト生藕ナメハスノ子乾藕根ホシ

タハスノ子番名スリキリイ新藕汁新シキハスノ子ノシル

藕、汁ハストヒシトノ根ノシル藕實ハスノニ

芟實 和名 ヒシノミ 處々水中ニ生ス本邦アルトコロノ者ハ

野菱ナリ蝙蝠菱ハ極メテ大ナリ山城伏見ニアリ酉陽雜俎

云芟今人但言菱芟諸解草木書亦不分別唯王安食武陵記言

四角三角曰芟兩角曰菱ト云ヘリ

牡丹 即チ牡丹皮 和名 フカミクサ 一名山槭 古記 一名ハツカク

サ山城ハ根強ク大和ハ根軟ニメ皮薄ク大ナリ事物紺珠云

牡陽也丹赤色葉三出花而不實陽象也又為群花首故稱牡云

ヘリ

茴香草 一名茴香菜 即チ茴香 和名 クレノヲモ

酸醬 醬當作漿 異名 血見愁 簡便諸方 野紅燈籠花 同上 和名 アカ、チ

日本 紀 一名ハ、スキ 番名 アフリカス 紅毛 先君子曰大和本草云

此ノ實ヲ食フ蟲ヲハ、ト名クハ、好シテ付食フ故名クト

非ナリ本ハウツケナリ放兔ノツケ物ニ似タルヲ以テ畧メ

ハウツケト名クト典云放兔ノコト先君子ノ有職須知ニ見

ユ丹波龜山穴河ヨリ出ス今佐伯並河ヨリモ出ツ穴河ヲ良

トス酸漿草ノコト證治準繩論スルコト詳ナリ血見愁同名

三物アリ實淋疾ヲ治ス根産後ノ腫疾ヲ治ス甚驗アリ又犬

ハ、ツキ山ハ、ツキアリ

葦菱 又作葦撥 番名 ラカヘイフル 紅毛 今朝鮮ヨリ來ル酉陽雜

俎云青州防風子可亂葦撥ト

黄環 若水先生始メコレヲ以テ巾著豆トス後改メテ未詳ト
 ス先考慈菴翁曰巾著豆ハ狼毒子ナリ夢溪筆談ニ所説ハ紫
 藤ノ實ヲ指スニ似タリ然レトモ綱目所説ハ豆ノ類ニメ蔓
 ナ草實有毒ト云ヘバ古人所指ニ種ナリ按ニ是筑前ノ礮菜ナ
 リ形刀豆ノ如クニメ大毒アリ沈括ガ説誤ル一説ニ云シラ
 クチカツラト

王孫 一名黄香未詳或人曰エンレイサウ一名ヤウコウサウ
 伊續博物志云王孫一名黄孫一名黄昏孫思邈有黄昏散注云
 黄昏木或曰合歡合昏夜合花陳無已云探囊一試黄昏湯草部
 木部黄昏為二物郭璞曰守宮槐晝日聶合而夜舒布也江東有

木與此相反俗因名合昏ト

薇 和名 ヒンミイ 狗脊ヲセンミイトスルハ非ナリ

生姜 乾姜俱ニ用藥須知ニ出ツ生黄黄ハ姜字ノ誤リ番名 セ
 ンケヘルンノンフル紅毛 生姜屑セウカノスリクツ生薑汁姜
 汁生姜自然汁同ジシホリシル母姜一名宿姜俱ニ用藥須知
 續編ニ出ツ即チ後編ノ老姜ナリ母姜汁母姜ノシホリシル
 炮姜炮製ノセウガ陳姜歲經タルセウガ一本ニ陳ノ字無シ
 乾姜一名白姜番名 チンテイヒリ山城木津ニテ製スル者白
 姜至テ佳ナリ先考曰參河乾姜ハ石灰ヲ以テ製ス毒アリ生
 姜去皮日乾スベシ綱目ニ流水ニ浸シ器ニ入レ蓋ヒ宿ヲ經

テ紫色ニ變ズ是一法ナリ紹興府志ニ乾姜山ノ水ニテ製スルヲ良トスト是膠ヲ製スルニ阿井水ニテ製スルカ如シ續博物志云作乾姜法水淹三日畢置流水中六日更去皮然後曝乾入甕瓶謂之釀也ト乾藍藍ハ姜字ノ誤ナリ乾姜三累本書卷一ニ乾姜三累者以半兩為正ト云ヘリ

井中倒生草 空井中倒生草俱ニ用藥須知續編ニ出ツ和名コツスイ

倒掛草 倒一作到ハ誤ナリ此上ノ倒生草カ或ハ何草ニテモ井中或ハ山厓等ニ倒ニ生タルクサカ

篇蓄 篇竹同シ和名ニハヤナギ京一名三チヤナキ仙一名ホ

タルサウ加一名ウシクサ番名ホウリカヌ紅毛ホウリイノ上同ホタル草同名アリ篇竹葉三チヤナギノハ篇竹ノ莖葉陰乾シ水煎メ服ス諸淋ニ神驗アリ

朝生 一名朝菌和名狐ノカラカサ

六芝 一名耐冬菜即チ靈芝ナリ和名サイハイタケ一名子コシヤクシ關異名壽潛柳蝶記サルノコシカケトスルハ非ナリ

サルノコシカケハ木癭ナリ又紫芝アリ余カ所著ノ本草狐白裘ニ見ユ

昆布 用藥須知後續二編ニ出ツ
海藻 一切海中ニ生ズルモクサノ總名ナリ用藥須知後編ニ

ホダハラトス然レ_レホダハラ一物ニ歸シ難シホダハラ余
カ家ニ大人小兒頭瘡面上一身瘡ヲ生ヌルニ燒テ灰トシ麻
油ニテ調ヘ傳ク一夜ニメ落チ且癩痕無シ盡ク内毒ヲ吸出
シ内へ入ル、コト無シ又打撲傷損ニ水煎シ服ス二三服ニ
不過愈ユ余數十人ニ用ヒ神驗ヲ獲タリ

藻草 九リカハモノ總名ナリ渠中藻菜小渠ノ中ニ生スルモ

クサ

水中陸蝿 和名アヲミトロ 京一名アミドリ 備一名狐ノアヲ

ヲ加一名川アヲノリ小渠中ニ生ズ海青苔ニ似タリ菴商採

テ日乾シ海青苔ニ假充ス俗ニ八百屋ダヲシト呼フ側理帛

ハコレヲ以テ抄ナリ

不流水中濃菜 未詳水ノ淀ミタル中ニ生ズル水苦蕒ノ類ナ

ルヘシ

翹搖汁 翹搖菜ノ汁ナリ翹搖菜 和名ノエンドウ 京一名ギ

ヤウフ 周一名カラスノエンドウ一名イラ、李東璧薇ヲノ

エンドウトシ翹搖菜ヲメハウエンドウトス非ナリ此物田

野ニ生ス小草ナリ蔓ヲ作シ葉槐ノ如ク排生シ春小淡紫花

ヲ開ク柳川滄洲先生云即チ槐葉ノ王不留行ナリト

鹿藥草 即チ鹿藥 和名ハウシヤ 古綱目萎蕤附録ニ出ツ先考

曰未詳ト或人云鈴蘭キミカゲサウノ類ナリト

茄子根 ナスヒノ根ナリ**番名**クワイアツフル毛紅

雲實 **異名**鬼兒莢花本 **和名**シヤツケツイハラ一名カハラフ

ヂ一名サルガタリ隱岐一名ハニサ、ゲ一名サルカケイハラ

渡佐一名小角イハラ木一名文覺イハラ秋田一名夏フチ此鬼莢

ノ類ナリ結莢子堅ク色黒ク蓖麻子ニ似テ筋アリ藩籬トメ

盗ヲ防グベシ菘莢ヲシヤツケツイハラトスルハ誤ナリ

茵陳 **和名**カハラヨモキ一名鼠ノヨモキ北國一名コンケ攝津

名ヤブセンテ毛紅葉老ニ至テ尚散髪ノ如シ黄花蒿ハ花葉ニ

人疎ナリ茵陳小兒ノ熱ヲ解ス妙ナリ繆仲醇曰茵陳蒿須用

葉有八角者山茵陳俗呼為帝鍾茵陳即八角者也按帝鍾茵陳

ハ沙參ノ一名ナリ仲醇誤ル又按ニ草木畧云茵陳南人所用

似香薷北人所用似青蒿即白蒿也香薷亦名茵陳石香薷又名

山茵陳四種足相紊也ト似香薷ト云ハ石香薷ヲ指ス似青蒿

ト云ハ即今ノ茵陳ナリ茵陳亦古人白蒿ト呼フ野苘蒿ニ

似タル所ノ白蒿ヲ云ニ非ラス

墻頭青衣 用藥須知續編屋遊ノ下ニ出セル墻上苔蘚ナリ

鼠粘根 牛蒡根鼠粘草根同ジ **和名**ゴバウ山城八幡園村名産

ナリ鼠粘葉コハツノハ典曾テ此葉汁ヲ以テ眼目翳障數人

ヲ治セリ實ヲ惡實ト名ク **番名**ケンスン毛紅

羊蹄 即チ羊蹄草 **和名**ヤマシ古今集一名トテカウバ江戶一名ク

カバセヲ播番名サルヘイ子一名スイロンク紅クサハセヲ

同名アリ羊蹄根用藥須知續編ニ出ツ根ツミシ黠ヲ治ス

蕃荷葉 一名勒荷即チ薄荷ナリ **和名**メクサ京 一名メハリク

サ安藝 一名ミツタバコ攝津部

香澤 一名燕香一名燕尾香即チ蘭草ナリ説蘭品ニ見ユ

澤蘭 澤蘭子シロ子ノミ澤蘭葉シロ子ノハ

青蒿 **和名**アルタサウ近江 一名クサ人參山城 一名クソ人參吉田

一名ノラニンジン和 **番名**サトレイカ紅 田野多ク生ス茵陳

黄花蒿ニ似テ葉淺青色香氣ヨシ加賀美濃ニ無シ他所ヨリ種ヲ取り種レハ明年變メ黄花蒿トナル

羅勒 即チ蘭香 **和名**メバウキ此實ヲ目中へ入レバ目中ノ眵

液ヲサス滌取り出ス故ニ名ク禹錫カ羅勒三種アリト云和ノ藿

香モコレニ近キモノナリ又齊民要術ニ羅勒アリ別物ナリ

龍膽 **和名**ヲモヒクサ方 一名ヲユリヲトシ一名アゼキヤ

ウ一名コダニ源氏 一名クダニ歌 夕ニハ苦膽ノ義ナリ白

花ノモノ山城大宅村ニ多シ

高良姜 杜若説用藥須知ニ見ユ是先君子据夢溪筆談言ヘリ

良姜 **和名**山メウガ一名ジヤウゴ薩 **番名**カラシカ紅 薩摩ノ

者上品ナリ生姜ニ似テ毛アリ甚タ寒ヲ畏ル又遠江濱松ノ

森ト云處ノ山中ニモアリ近來漢種 官園ニアリ赤花ヲ開

ク杜若典按ニ杜若ヲカキツハタトスルユト唐宋ノ時本邦ヨリ渡海シ彼ノ方ニテ俗ニ杜若ヲカキツバタトセシヲ聞來リテ稱セシモ知リ難シ且明人徐中行カ詩ニ容與泛舟杜若間ト作りヌレハ華人モカキツバタトセシヤラン

澤瀉

和名 ナ、ト一名サジヲモダカ一名ヒラヲモダカ豊前小倉

大黄

和名 ヲ、シ古名 **番名** ルイハレホルイハア、ルホ紅毛和漢

俱ニ真ナリ漢ヲ上品トス和次之和ハ大和南山城ヨリ出ス丹後次之川大黄一名蜀大黄蜀ノ川中ノ大黄ナリ

藺茹

先君子曰熊野山中ニ大戟甘遂澤漆ノ外ナルモノアリ

蓋藺茹ナラント漆頭藺茹根ヲ斷レハ汁出テ黒凝テ漆ノ如

シ故ニ漆頭ト云フ白藺茹即チ藺茹ナリ根白シ**和名** クサヒ

ヨウ

狼牙根

即チ狼牙**和名** ノダイコン大坂一名コイツナギ上種樹

家ニ鬼ノヤガラニ充ツ非ナリ狼牙葉狼牙ノハ狼牙濃煮汁

濃煮ハコク煎シタルナリ

蟬麻子

草麻仁同シ草麻**和名** カラエ古訓一名唐ゴマ一名唐ノ

ゴマ**番名** ニキルアルモ紅毛ヘルナテイヤ同河間府志ニ一名

大麻子ト誤ル大麻ハ常ノアサナリ蟬麻葉タウゴマノハ蟬

ハ牛ノ虱ウシノタニナリ此子斑文アリテ牛ノタニ、似タ

リ故ニ名ク草麻子脂タウゴマノアブラ印色ニ用ルニハ瓶

茵芋 二盛リ帑ニテ封シ床下地中ニ埋ム一半歳許取出シ用ベシ
芋一作蕈若水先生以テミヤクシキミトスミヤクシキ

家言ニ見ユ茵芋葉茵芋ノハ
肥前ノ方言ナリ一名アニリンキヤウ先君子説アリ一

白鮮 一名白羊鮮即テ白鮮皮ナリ和名ヒツジクサ古訓一名カ
ンスイ根白ク氣鮮腥ナリ丹波及ヒ大和芳野山中ニ生ズ木

撞ニ似テ秋單瓣ノ白花ヲ開ク又紫花ノ者アリ先君子曰花
シノブニ充レ凡花シノブハ根腥カラズ花シノブ秋紫花ヲ
開ク又曰ヤナギサウ白鮮ニ近シト

角蒿 先君子曰凡ノ蒿類ノ角ヲ結ブ者皆角蒿ト云ベシ蘇恭

所説ハフチナデシコ一名木石竹ヲ指ス花フヂ色白色雜リ

サキノ數色アリ保昇所説ハ江戸ニ生ズル一種ノ草ヲ云フ

宗奭所説ハ木曾ニ生スル一種ノ草ヲ云フ東壁及ヒ救荒本

草古今醫統ニ云フ者ハ即チ柳葉菜ナリト或人云番名バシ

リコン即ユキノシタト虎耳同名角蒿灰ハクロヤキ

陸英 蒴藿ノ花ナリ又三葉芥モ陸英ト名ク

石長生 三種アリ一ハ筍根クサ一名鳳凰草越前一ハヨメカハ

ハキ一ハシノブ益部方物畧記ニ葉似擡ト云モノハシノブ

ヲ指ス或人云カラスノアシト云者是ナリト

敗醬 和名ヲモヒクサ歌番名シンクテイヤ花黄ナリ白花

ノ者ヲヲトコメシト名ク又夏ヲミナメシアリ別物ナリ

出粉 未詳疑ラクハ出ハ白或ハ山ノ誤カ白粉ハ米粉及ビ胡

粉ヲ云山粉ハワラビノ粉ナリ温州志云蕨根春為粉俗名山

粉ト云ヘリワラビノ粉大和人キゴト呼フ

海金沙 和名ウブセクサ一名イトカツラ藝一名カニトリク

サ一名ツルシノブ二種アリ一ハ高一尺ニ過ズ一ハ蔓生メ

草薄上ニ延続スウフセクサカニトリクサノコト余ガ著ス

享帚録ニ詳ニス

木蓮 和名イタビ一名イヌタブ蔓生ス三種アリ尋常ノ者ハ

葉長シ一種ハ圓葉一種ハ細葉ナリ地蜈蚣葉ニ似タリ蓮蓬

即チ木蓮蓬ナリ木蓮房ノ實ヲ云形無花果ニ似タリ若水先

生曰松毬名松蓬ノ例ナリト

甘蔗 用藥須知續編ニ出ツ甘蔗根多食スベカラズ腹脹塞氣納

蘆朮 即チ蘿菘 和名ダイコン根多食スベカラズ腹脹塞氣納

豆ヲタ、クニ生大根ヲ以テタ、ケバ即チ粘ス又鮮鯛ヲ料

理スルニ生大根ノサキ米ニテ磨スレバ鱗即脫又續博物志ニ火

災ノ時煙ニ薰セラル、ニ生大根一塊ヲ銜メバ煙中ニ在テ

苦ムヲナシ又雨衣及傘ニ大根ノシボリ汁ヲ以テ引キ桐油

津符子 綱目諸果類ニ出ツ未詳

虎杖 和名 イタドリ 一名サド日 一名サイダツ古 一名タチ

ヒノハナ 紀日本 大小二種アリ小ナルヲカムリサウ京 一名公

家サウ上ト云花形頭ニ冠ヲ戴キ纒ノ垂ル、カ如シ故ニ名

ク赤水玄珠ニ虎目即虎杖樹皮向南者ト誤ル虎目ハ椿根ノ

一名ナリ虎杖根イタドリノ子高地虎杖根高キ土地ニ生タ

ルイタドリノ子竹ヲ柔ニスルニ虎杖苗根ト共ニ煮レバ自

由ニ揉結ブベシ

活草子 未詳或人云綱目雜草有名未用ニ姑活一名冬葵トア

寄生 是ヤドリ木マトリ草凡ノ草木上ヤドリ生ズルモノ松

リ恐ハ是ナラント

楓桑等ノ者ハヤドリ木ナリ兔絲等ハヤドリ草ナリ

白苧草 綱目ニ出ツ未詳

温粉 此諸藥末ニ米粉ヲ和シタル者ナリ傷寒活人指掌云温

粉白朮藁本川芎白芷各等分右細末每藥一两入米粉一两半

相和用粉撲周身ト云ヘリ

菡豆 諸書ヲ按ズルニ菡豆無シ疑クハ菡ハ菡ノ誤ニメ射岡

ナリ豆ハ烏豆ナリ二名一トナリタルナラン

白附子 和名 ヒメウヅ山城 一名放下僧花鳥頭葉ニ似テ小ク

好ンテ竹林ノ陰ニ生ズ高尺ニ過ギズ花小ニメ白ク小梅ノ

花ニ似タリ

蕨菜

和名ワラビ一名ヲワラビ米澤春月嫩芽ヲ採リ茹トス俗

ニ鈎カギワラビト呼ブ鹽藏ノ者陸奥ノ者佳品ナリ又犬ワラヒ

アリ山城山中ニ生ズワラビニ似テ葉大ナリ陸奥米澤ノ人

メワラビ一名コヰミト呼ブ

瓠

和名フクベ一名ヨサヅラ神代卷長フクベナリ瓠ハ圓フク

ベナリ瓠匏俱ニ甜苦ノ二種アリ 本邦祝儀ニ熨斗ヲ用ル

コトハ八幡社記ニ神功皇后三韓ヨリ還リタマヒ假ノ皇居

ノ邊ニ甘瓠ヲ生シ實ヲ結ブ皇后將士ニ賞ヲ行ヒタマフニ

此實ノ皮ヲ剥キ一筋ツ、賞物ニ添ヘ賜ヘリ後今ノ熨斗ニ代

フト先君子ノ荀完雜識ニ見ユ甜瓠アマキナガフクベ爾雅

翼ニ苦キヲ瓠トシ甘キヲ瓠トスルハ非ナリ甘キ者ヲ瓢ヒヤク畜

トス肥前ニテユフガホト呼ブ瓠子ヒサゴノ夕子霜下瓠花

秋末霜降ノ時ニ開キタルフクベノハナ苦瓠ニガキキルフ

クベ苦瓠ニガキナガフクベ瓠葉ナガフクベノハ苦瓠葉ニ

ガフクベノハ白苦瓠白花ノニガフクベ苦瓠穰用藥須知續

編ニ出ツ苦瓠白穰實シロキサナゴトミトナリ不開口苦瓠

クチノアカヌニガフクベ苦瓠膜用藥須知續編ニ出ツ生苦

瓠中白ナメノフクベノ中ノ膜ナリ

蒲

附蘆荻葦蒲莞ノコト用藥須知後編敗蒲ノ下ニ辨ス蒲灰カ

メノクロヤキ蒲白ガメノシロ子蒲黄用藥須知ニ出ツ蒲葦

灰ガマアシノクロヤキ蘆根アシノ子生蘆根ナメノヨシア
シノ子蘆根汁ヨシアシノ子ノシル蘆穉ヨシアシノカハハ
カマ三年陳蘆梢刈り取りテ三年ノ陳ヲ經タルヨシアシノ
サキ蘆荻根ヨシヲギノ子葦莖ヨシアシノクキ竹島ノヨシ
大ナル者ハ馬盆バダライト作スベシ葦莖灰ヨシアシノクキノクロ
ヤキ蘆笋莖ヨシアシノシロ子ノアツモノ蘆葦葦灰葦ハハ
へ出ノサキノ嫩ヤサナル處ヲ云灰ハクロヤキ蘆葦葦汁蘆葦葦
ノシル葦薪アシヲタキニスルナリ葦和歌ニワスレクサ
ト名ク堀河院御製ニモミダニハ花サク色ヲワスレクサ
又俊頼卿老テ身ノウキヲモ今ハワスレクサト詠ジタマへ

リワスレグサ萱草ト和名ヲ同フス葦ハ秋ノ名ナリ蘆ハ總
名ナリ蘆蘆蘆ハ萩和名ヲキ穂稀少ニメ知風草穂ニ似タリ
ヨシノ穂ノ如ク大ナラズ秋ニ至リ莖紫ニ變ス

越瓜 和名 アサフリ 京一名シロフリ 房一名ヲトキ 大和一名
カタフリ 加賀金澤 出羽秋田 浅青色ノ者ヲ佳トス深青色ノ者ヲ下ト

胡瓜 和名 キフリ京師ノ者小ニメ蒼シ上品ナリ黄ニメ大ナ
ルハ下品ナリ一種大和ニ白キ者アリ

冬瓜 山城西院ノ者上品ナリ浪華ノ者ハ長大味劣ル綱目一
種長者名水瓜ト云モノ是ナリ冬瓜子冬瓜仁仁ニ白瓜子白

瓜子仁仁人冬瓜瓣同シカモフリノタ子冬瓜汁カモフリノ
シル冬瓜練練外臺作汁

早青瓜 和名アヲフリ一名筋フリ 伊勢山田毛アリ西瓜ニ似テ長シ

藜蘆 和名シユロサウ一名日光ラン葱管藜蘆ハ江戸道灌山

但馬城寄一ノ湯ノ邊鎌倉錦屏山上野日光山甲斐ニ多シ山

城蟻ガ池近江伊吹ノ者ハ毛アリ俗ニバイケイサウト呼フ

又種樹家ニ敦盛草熊谷草ト呼モノコレニ近シ

浮萍 水上浮萍浮萍草水萍水浮萍同シ乾浮萍ホシタウキク

サ烏手亦水萍ト名ク

蛇含 即チ蛇含根ナリ 和名キシムシロ一名キラシクサ一名

ヘビイチゴ 稻若水先生五葉特生ノヲトコヘビイチゴトス
五葉ニメ長スレバ三葉トナル又七葉ノ者アリ先君子晩年
曰蛇含蛇莓畢竟一物ナリ綱目ニツトスルハ非ナリト生蛇
銜生ハナナナリ

蛇莓根 和名ヘビイチゴ一名ミツバイチゴ一名カラスノヤ

ニモ、五葉ナリ蛇含ハ毒無ク蛇莓ハ毒アリ

菰 即チ菰蔣一名茭蒲一名菰白菜 和名マコモ一名アサカツミ

龍葵 和名ウシハ、ツキ 山城宇治一名水ハ、ツキ 熊野一名コナス

ビ一名ツバラゴ 江 番名サントフシソヲアトロン 紅毛實生ハ

青ク熟ハ黒シ赤キハ實稍大ニメ美ナリ龍珠ト名ク山中多

ク生ス又イヌハウツキアリ一名ハダカハ、ツキ一名山ハ
ハヅキ莖大ク實大木患子許ノ如シイボアリ

鬱金香 古ハ酒ニ造リ祭神ニ地ニ灌キシ是ナリ河間府志俗
名酒豆ト又癸辛雜識別集云明堂所用鬱鬯凡三十斤取之信

州吏云實未嘗用之大毒能殺入蓋文具久矣ト云ヘリ
薔薇根 即野薔薇ノ根ナリ和名ノイバラ一名イゲ 筑前一名ニ

モチイバラ一名サカヤニンドウ 大番名ロザアト 紅種類多
薔薇灰灰ハクロヤキ薔薇根皮薔薇根白皮ノイバラノ根ノ
ウチカハ濃煮薔薇根汁コクセンジタル根ノシル

蛇牀子 蛇牀仁蛇牀實同シ和名ヤブシラミ 京一名ツカミ 野熊

一名ツビツカミ 能登一名トリツキババ 備後庄村一名トビツカミ 大垣

一名ヤブニンジン 番名ヘリホウヨン 紅毛陰囊濕癢婦人陰門
痛癢ニ蛇牀子枯白礬各一錢濃煎ジ洗フ 不過二度愈ユ蛇麻
子麻ハ牀字ノ誤ナリ

補骨脂 市家商麻子ヲ以テ偽貨ル毒アリ用ベカラズ近歲山
城祝園ニテ作り出ス九月ニ采ル苗麻ノ如シ子漢ハ内赤ク
和ハ青シ又漢種 官園ニアリ小兒夜啼ヲ治ス

薰草 即チ零陵香用藥須知後編ニ出ツ薰春秋傳ニテハ香草
ノ通稱トス此ハ一物ヲ指ス即チ蕙ナリ 蕙三種アリ 八閩通
志零陵香又謂之燕尾草ト是蘭草ヲ誤リ混ジタルナリ汝南

圃史引鎮江府志云茨菰一名燕尾草ト與此同名零陵香金光
明經名多揭羅又救荒本草ニ草零陵香アリ甲賀氏以テヘン
ルウダトス零陵香子蕙ノミナリ

七姑草 即チ用藥須知續編ノ濕姑草ナリ和名ウグサ周防一名

チリククサ薩摩越前福井一名ヒヨヒヨリクサ越前庭際陰處ニ生ズ

小草ナリ古歌ニ庭ノヲモニチリククサノ末マデモ影ヲト

ドメテヤドス月カナ 本邦性理家コレヲ以テ各具ノ太極

ヲ説ク生葉ヲ按モニ水ニテ服ス骨鯁ヲ治ス多年ノ臙瘡ニ葉

ヲ搗キ輕粉少許加ヘ傳ク

苦參 和名狐サ、ゲ仙臺六月莢ヲ結ブ根陰乾メ火上ニ燒キ鷲

掌風ヲ熏ズ根ヲ煎メ漆瘡ヲ洗フ丹波上品漆路伊豫今張安

藝廣島次之出雲ノ人莖皮ヲ取り布ニ織ル光アリ

菖蒲 即チ石菖蒲用藥須知ニ出ツ菖蒲葉セキシヤウノハ

雞頭子 雞頭實水中雞頭子同シ用藥須知後編ニ出ツ和名ヲ

ニビシ播摩一名サンゴロ近江一名ゲドウ仙臺

劉寄奴 用藥須知後編ニ出スモノハ綱目葉似柳ト云モノナ

リ葉似山蘭ト云ハ菊葉ノ劉寄奴ニメ和名山城大根ト呼ブ

救荒本草及ヒ本草原始ノ者ハ別物ナリ又小葉ノヲトギリ

サウアリ雀舌草ニ似タリ

萱草 一名鹿葱和名ヒルナ一名ウシノニンク丹波一名ア

マナ關番名レイレ一名ク、ヨンフルホン花單瓣重瓣ノ二
 あり又唐クハンザウヒメクハンザウアリ或ハ葉白點アル
 者銀條アルモノアリ或人云王薑臣曰鹿葱ハ金燈檠ノ類ナ
 リトヒメクハンザウキスゲユフスゲベニスゲ日光キスゲ
 皆小葉ノ萱草ニメ金萱ナリ小葉一種センテイクハアリ即
 チ蜜萱ナリクハンサウ春初嫩苗ヲ採リ茹トメ食フベシ
 白菜 和名唐菜一名隱元菜黃蘗山ニ種葉ニ白粉ヲ糝スルガ
 如シ味美ナリ春ニ至リ早ク薑ヲ起スコレヲ薑臺トスルハ
 非ナリ又加賀ニインゲンナト呼モノアリ與此別ナリ
 青菜 生菜同シ總メ一切野菜類ノアヲハナリ産後一臘ノ内

青葉ヲ食メ若シ下利スレバ死ス藥ノ療ズベキ無シ慎テ食
 フコト勿レ蒿苣亦生菜ト名ク臨洮府志ニ出ツ又禽アリ青
 菜ト名ク江陰縣志ニ出ツ
 五辛 五辛ノコト用藥須知ニ出ツ歲華奇麗云盤號五辛註風
 土記云元日食五辛以練形以助五臟佛家五辛說用藥須知ニ
 出ツ又諸乘法數云五辛大蒜茗蔥山蔥慈蔥胡蔥蘭蔥家蔥興渠薑菜
 梵網經云大蒜胡葱茗蔥山蔥慈蔥冬蔥蘭蔥小蒜興渠蔥○
 道家說小蒜大蒜韭薑臺胡荽
 菘菜 芸薑菜同シ油菜ナリ薑臺和名クバタチハタケナノタ
 ウナリ油菜ニ出ル薑ヲ云好シテ早ク薑ヲ起ス層ヲトメ雲

ノ如シ故ニ名ク番名ラフ紅毛、紅蕘、紅蕘葉アブラナノハ温州志ニ
苦蕘ノ一名トス誤ル乾、紅蕘、紅蕘乾ハホシタルナリ熟ハ十分
ニ實ノ熟シタルナリ蕘、紅蕘子、紅蕘菜子同シ蕘ニ作ナタ子生、紅蕘
菜生ハナニ青藤山人路史云蕘有三種一曰白蕘即油菜一曰
紫蕘即芥菜一曰牛肚蕘即蠶白菜

油 即チ菜油タ子アブラナリ燈ニ用ルニ若狹近江ハ桐油ヲ
ヲ用ヒ海國ハ多ク魚脂ヲ用ユ近歳京師ニモ間コレヲ用ユ
京師ニテ冬月ハ菜油ニ草綿子油ヲ雜ヘ貨ル白ヲ打ツト云
綿子油ハ毒アリ陳久油滓久シクナリタルアブラノヨリ油
淀アブラノヨリ油瓶下滓アブラツボノソコノヨリ燈蓋殘

油アブラツキニアルトモシサシノアブラ車、紅脂、紅車、紅中脂、
車、紅中脂ノ誤リ同ジクルニノコシキノアブラ轄ハクサビ
クルニノ軸ノサキノカナモノ車、紅中脂、紅同ジ車、紅轄、紅脂、紅クルニ
ノクサビノアブラ車、紅脂、紅クルニニヌリタアブラ車、紅軸、紅脂、紅クル
ニノダクノアブラ

蕘一名蔓蕘。蕘。路史云北地有蔓蕘名温蕘。和名ウキナ一
名カブラ處々多ク種ユ山城ハ田中村ノ産味最美ナリ近江
カブラハ極メテ圓大味最勝ル今京師近江種ヲ取テ種大抵
近江ニ異ナラズ但極メテ大ナラザルノミ乾ス者ハ浪華天
王寺カブラ名産トス又ムラサキカブラアリ根紫色味差劣

ル蕪菁根カブラノ子蕪菁子カブラタ子蔓菁花カブラノハ
ナ蕪菁根汁カブラヲユビキタルシル乾蕪菁根ホシカブラ
不中水蕪菁葉水ノカ、ラヌカブラノハ蕪菁莢カブラガウ
スイ蕪菁菜莢同シ

女青 和名クゾカツラ 萬葉集 一名ヘクソカツラ一名ヘウソカ

ヅラ一名ヤイトバナ 北國 田野ニ生ズ蔓草ナリ葉圓ニメ臭ク

両々對生ス 本邦コレヲ以テ諒闇室ノ竹椽ヲ纏縛ス真ノ

女青ハ越前福井ニテカラスノヒルツルト呼モノ是ナリ二

種アリ大葉ヲウナギツルト云フ蔓生ノフナハラナリ本草

蒙筥ニ蛇含根乃女青ト誤ル綱目引羅浮山記云山有男青似

女青ト云シ女青ハホニメ和ニ子ズミモチト名ク事物紺珠
ニ女貞一名女青ト名同ク物異ナリ

薑草 三種アリ一ハカリヤス一ハアヲバナ一ハ近江ニテ蚊

帳ヲ染ル草ナリカリヤスハ醫死ニ出ス黄蘆是ナリ蕎麥麩

ヲ食ヒ腹脹痛メ死セント欲スルニカリヤス水煎メ服ス即

チ愈ユ又カリヤスヲ以テ蕎麥麵ヲ蓋ヒ置ケバ終日ノビズ

百合 和名山ユリ 食フベシ餘ハ蒸ニメ食フベカラス百合ノ

名百合病ヲ治ルヲ以テ名クトハ非ナリ百合根ヤムユリノ

子厚朴亦名百合 和名唐千サ 一名フタンサウ一名イツモナ一名長春菜

番名 ロヲトベエト 紅毛 處々ニ種ヘ食フ一名蒼蓬廣西通志云
蒼蓬汁可洗衣

苜蓿 紫苜蓿、赤苜蓿、小苜蓿同シ 和名 犬ビユ 田野自然生ノモノ
ナリ下品ナリ家園田圃ニ植ルモノヲ白苜蓿ト名ク 和名 ムビユ
ユ一名唐ビユ 綠葉白花上品ナリ七月先靈ニ供ズル者是ナ
リ俱ニ土氣アリ五色苜蓿アリ用藥須知續編ニ出ツ苜蓿菜根ヒ
ユノ子苜蓿實ヒユノミ

馬齒菜 馬齒、馬苜蓿同シ即チ馬齒苜蓿ナリ 和名 ムビユ 番名 サ
ウトラアルヲホルトラアカ 紅毛 葉小ニメ厚ク小鋸齒アリ茹
トメ食フベシ味滑ナリ但土氣アリ醬辦用藥須知後編ニ出

ツ或人云醬中ノ滓ナリト馬齒葉スベリヒユノハ莖葉小兒
丹毒ヲ治ス

白苜 和名 キツ子アザミ 一名 サギナ 丹後田邊 河村 一名 ノゲシ
名ノアザミ 一名 犬アザミ 一名 ノゲシヤ 番名 セントウリコ
ムシノウリス 紅毛 田野廢地ニ多ク生ス葉岐多ク色蒼白シコ
レヲ折レバ白汁出ヅ花淡紅色後紫ヲ成シ風ニ轉ジ止ル處
ニ即チ苗ヲ生ス繁衍シ易シ屋上瓦縫壁陰ニ好ンデ生ス

巴戟天 和名 カキノハグサ 一名 藥草 一名 キツカウクサ 若狹
一名 ノアフヒ大葉小葉ノ二種アリ大葉ハ茶葉ナリ小葉ハ
柳葉ナリ茶葉ハ處々山中陰地ニ生ス柳葉ハ叡山四明ニ生

ス又近地ニモ稀ニアリ初生柳葉ニ似タリ市家ニ柳葉様ト
呼フ又珠數様ノ巴戟アリ珠數様ハ偽多シ用ヘカラズ

百脉根 **和名**エボシグサ一名キレンゲ 江近一名キツ子ノエン

ドウ 武藏 處々山野ニ生ス花黄色豆花ノ如ク莖遠志ニ似タリ

先君子曰是真ノ首蓐ナリ東壁所説首蓐ハムコヤシナリ

地榆 **和名**ダンゴイタバキ 高野一名ホウツハナ先君子名ケテ

クサニレト云處々ニ生ス山城蟻ガ池邊多ク生ス葉ニレニ
似タリ一種天飛草アリ紀伊高野山ニ生ス葉側生シ花紅ナ
リ是亦地榆ノ類ナリ地榆根クサニレノ子地榆汁クサニレ
ノシル

茆根 茅根白茅白茅根白茆根同シ即チ菅茅ナリ **和名**チカヤ

一名カヤ一名アマ子一名アマミ根極メテ甘シ屋ヲ菅ニコ

レヲ用ユ春ノ芽ヲ茅針ト名ク **和名**ツバナ小兒ノ心熱ヲ治

ス春末ハ絮ヲ成ス茅根汁チガヤノ子ノシル

鬼督郵 和産對葉扁葉ノ二種アリ扁葉ノモノ種樹家ニハグ

マト呼フ加賀ノ者ハ蕺荷ニ似タリ

白微 綱目所説ハ細葉ノ者ナリ救荒本草所説ハ圓葉ノ者ナ

リ種樹家テツハウサウト名ク葉圓ク末尖リ白毛アリ實瘰

々針線包ノ如ク横ムキテ出ツ狀丸ヲ挾ムガ如シ故ニ名ク

白前 **和名**三柳ヤナギ一名ヌマハギ一名ヒメトラノヲ一名

ヌマトラノヲ近江一名コヘミグサ虎尾草ニ似テ小ナリ水邊ニ生ズ綱目諸藤附録ニ藍藤ヲ出ス藏器曰生新羅國根如細辛主冷氣咳嗽熊谷氏云此カモメヅルナルベシ白前條ニ今用蔓生者非也ト蔓生ノ者トハ明カニカモメヅルナリ白前一一名嗽藥ト咳嗽ヲ治ス蔓生ノ者ヲ用ルハ俱ニ咳嗽ヲ治シ且ツ根ノ似タルヲ以テ誤ルナルベシ

茺蒿 和名不斷菊 美濃一名サツマギク 根一名ロウマギク 周防一名無蓋草 伯耆倉吉一名トキハギク 種樹家一名ノビスバン 一名ノビスマ 茺蒿花黄白雜ルモノ加賀ニテツマヅロト呼ブ五月翠菊亦シユンキクト呼ブ名同ク物異ナリ一種葉細ク苗

香葉ニメ白花ヲ開クモノヲ種樹家ニ銀カウライト呼フニ四月花ヲ開ク又野茺蒿アリ即鼠麴ナリ

邪蒿 和名ヤメ人參 伊勢青蒿ノ類ニメ葉ニ斜紋アリ香氣薄シ有莢無莢ノ二種アリ

薺花 和名ミノハクサ一名ヒナギ、ヤウ金剛山及ビ紀伊弱山其外諸州ヨリ出ツ和人誤テセイ子イト呼フ用藥須知沙參ノ下ニ辨ズ

萎蕤 用藥須知ニ出ツ 異名女草一名麗草一名娃草 並西陽雜俎 和名カラスユリ 肥前番名サラモンズ 紅毛諸處ニ生ス金剛山ノ者ヲ佳トス

百部 百部根同シ薯蕷葉ノ者佳ナリ周防ニ竹葉ノ者アリ葉

淡竹ニ似タリ生百部汁百部ノナメノシル

薺菜 附新 實子 和名ナツナ一名メナツナ 陸 一名チウシヤク一名ヒ

ナノキンチヤク 信 一名ムシツクソフ 越 一名モトリクサ 番

名ハストリヘルサハストリ 紅 薺菜 和名 バチクサ 歌 一名シ

ヤミセングサ一名ヲ、ナツナ一名ヲトコナツナ一名カラ

ナツナ小白花ヲ開ク薺菜子バチクサノミ子扁ニメ三角三

線撥ノ如シ南都ノ賦ニ薺菜分チ出ス綱目ニ無毛薺トシ

右毛薺實トス拾遺集長能ガ歌ニ雪ヲウツミカキ子ニツメ

ルカラナツナ梁塵愚抄催馬樂庭ニヲ、ルカラナツナ註ニ

カラナツナハタゞ薺ナリト按ニ薺ハナツナナリ一種大ニ

メ有毛モノハ薺菜ナリ和名カラナツナ先君子曰薺菜分

テ二物トスルハ非ナリ有毛無毛ヲ論ゼス俱ニナツナナリ

薺ハ苗ヲ云ヒ薺菜ハ子ヲ云綱目誤ルト

葶藶 和名 イヌナツナ一名ヒナノキンチヤク一名スゞメノ

キンチヤク子甜苦ノ二種アリ山城ノ者ハ甜ク長壽大和ノ

者ハ苦シ葶藶子イヌナツナノミ生葶藶子生ハナメナリ

附子 番名 イホウン 紅 毛 草 烏頭ハ附子ノ野生ヲ云叡山山谷中

多ク生ス草烏頭ヲ植ヘ培養スルコト五六年ヲ經テ用ベシ

漢渡ハ鹽水ニ漬ケ和ラゲ模子へ入レ下ヲ平ラカニセシメ

正坐ノ名ニ稱ハシム附子烏頭一名烏喙側子天雄一物ナリ
 頭尖リ烏ノ頭ニ似タルヲ烏頭ト名ク番名ヤルウセエルム
 スフルン紅烏頭漢種上品ナリ其尖リ两片ニ開キ烏ノ口ヲ
 開キタル如キヲ烏喙ト名ク烏頭ニ附テ旁ヨリ生スルヲ附
 子ト名ク又附子ニ附テ上ニ生ズルヲ側子ト名ク側子ニ附
 テ長キモノヲ天雄ト名ク川烏頭草烏頭同シ川烏頭ハ蜀ノ
 川中ニテ作ル草烏頭ノ培養メ成タル者ナリ大附子一斤四
 五箇ノモノ中附子一斤七八箇ノモノ小附子一斤十二三箇
 ノモノ八角附子用藥須知續編ニ出ツ八角ニメ坐平ラカニ
 一箇重ヤ錢ノ者ハ氣全シコレヲ佳トス生附子製セザルモ

ノ製附子法水ニ浸シ和ラゲ取出シ火爐ノ傍ニ立テ並べ煖
 氣透ルヲ候チ切り片ニシ童便或ハ鹽水或ハ酒ニテ製ス又
 法水ニ浸シ和ラゲ葛粉ヲ水ニテ捏テ塗リ火中ニ煨ス或ハ
 煨シ姜汁甘草水ニ浸シ製スルモ亦佳シ生烏頭生ハナニ烏
 頭苗根根莖葉トモナリ秋乾烏頭秋採テ乾シタルナリ三建
 烏頭附子天雄皆建平ヨリ出ルヲ以テ三建ト名ク射罔烏頭
 附子ノ汁ヲ煎シ膏ト成シ箭ニ塗リ人及ビ畜類ヲ射ル立ト
 コロニ死ス射罔ト名ク

狼毒 番名タアラアウ紅藥性奇方ニ一名續毒ト

姜黃 用藥須知鬱金ノ下ニ辨ス漢渡アリ和無シ鬱金ト一物

ナリ市家云フ近歲山城北野ニテ作り出スト未知信否鬱金

番名リヤヲンヲソエンタアリ紅毛漢種 官園ニアリ琉球

草木圖ニ姜黄片子姜黄鬱金一トス舊根ヲ姜黄トシ嫩根ノ

片ナルヲ片子姜黄トシ大ナルヲ鬱金トス萬病回春藥性歌

大者ト為姜黄ト小者ト為鬱金ト云ヘリ諸本草或ハ一トシ或ハ分

ツ然レドモ一ナルベシ生姜紫姜ノ例ナリ

卷柏 **和名**イハヒバ筑前一名カタヒバ丹波一名コケマツ讚岐一名

イハマツ山中巖石上ニ生ス或人ヲヨヅハンエリコヲトス

未詳タモ是否ト

烏韭 **和名**ヒメヒバ亦山中石上ニ生ス卷柏ニ似テ莖無クイ

ハヒバノ葉バカリナルガ如シ時珍ハ地衣垣衣ノ山中ニ生

シ青翠茸々タル者是ナリト云ヘリ或人アタゴコケトスル

ハ非ナリ又山シノフトス又鬼ヒバアリ

石葦 **和名**カラヒトツバ **番名**ソカヘシアリ紅毛三葉ノモ

ノヲ金雞脚ト名ク如杏葉ト云モノハ金星草ナリ是亦ヒト

ツバト呼フ

石斛 **和名**イハトクサ一名イハクスリ金釵石斛ハ花白及ニ

似タリ雀斛種樹家ニアリ不入藥用生石斛生ハナニナリ

垣衣 用藥須知續編ニ出ツ西陽雜俎博邪在屋曰昔耶在牆曰

垣衣廣志謂之蘭香ト蘭香與羅勒同名

艾納 用藥須知後編ニ出ツ

水苔 一名水衣水中ニ生スルコケナリ

船底苔 用藥須知續編ニ出ツ西陽雜俎云船底苔療天行下

茨菰 汝南圃史云土人爛搗其葉如泥塗傳諸惡瘡腫及小兒游

癩丹毒其腫立消ト余小兒丹毒ノ奇方ヲ傳フ經驗ノ方ナリ

但クハイノ莖幹ニ非ラス子ニ付タル小莖ヲ用ユ按ニクハ

イノ子芽水銀ヲ含ム九ノ馬齒莧景天等ノ水録ヲ含ム者皆

用テ丹毒ヲ治スベシ

烏芋 一名水萍即チ勃臍ナリ和名クハイツル赤黒ノ二種アリ生ニテ食フベシ錢咽喉ニ鯁ルニ烏芋擦ヲロシ麻油ニテ

調へ服ス即チ愈ユ

牛膝 用藥須知ニ出ツ和名フシタカ阿房一名トリツキムシ

名コシノヒザクサ水戸一名ヌスビトクサ備前一名ヤマヌスビ

ト番名メンタビ實ヲ伊賀ニテイトロベイト云フコメノヒ

サクサハ牛字ヲ午トアヤメリタルナリ山城大和葛上郡戸

毛村ヨリ出ス形甚タ肥長ニメ漢渡ニ勝ル野生ノモノハ土

牛膝ナリ隨胎ニ用ユ一種根音キモノアリ山野ニ多シ雌牛

膝ナリ

烏翳 即チ烏翳根一名烏翳即チ射干ナリ和名カラスアフギ

花褐色ナリ生烏翳生烏翳同シ生ハナメナリ

鳶尾

和名イチハツ 番名アレイス

紅毛用藥須知射干ノ下ニ辨

ス又白花ノモノアリ疣ヲ落スニ此實一粒ヲ吞ム即チ落ツ

土瓜

一名玉瓜 和名チウチコブ

伊豫守一名狐ノミクラ 舟波一

名玉ツサ 京實蠅螂ノ首ニ似タリ又本邦ノムスビフミノ

如シ本草彙言ニ赤雹子ト名ク説下ノ括藎ノ處ニ見ユ土瓜

根土瓜ノ子ナリ土一作ニハ誤ナリ

括藎

和名カルリ 越前一名ニカフリ 山城一名ムベフリ 同一名

水カラスフリ 越前一名クソフリ 筑後一名牛カフリ 番名ラアテ

キスハラエリイ 紅毛山城貴船奥院ニ多シ括藎子即括藎實

ナリ實圓ナル者ハ衡州ノ括藎即チカラスフリノ實頭尾兩

頭尖ル者ハ均州ノ括藎即チタニツサナリ醫書云括藎實皮

黃蒂小正圓者名括皮赤蒂麤銳長者名擣名傳雖異證治相同

ト云ヘリ市家鈴樣扁樣ノニアリ鈴樣ハ占風鈴ノ如ク上圓

小下方潤即チ真ナリ扁樣ハ土瓜實ナリ括藎根大括藎根カ

ラスフリノ子括藎汁生括藎根汁カラスフリノ子ノシル生

ハナニナリ

天花粉 仙臺上品ナリ市家ギシトト呼モノハ括藎根ヲ粉ニ

シタルナリ雜リ無シ並ト呼モノハ土瓜根ヲ製シタルナリ

又石灰或ハ米粉ヲ雜ヘ貨ル耳擇用作粉法卷六十三ニ見タリ

羊躑躅

和名モチツ、京一名狐ツ、熊野一名ムベツ、シ

張名濟世全書云一名落羊花即黃春蓼花名搜山虎躑躅和名ツ
 ツジ一名レンゲツ、シ躑躅花ツ、シノハナ先君子曰三月
 開ク者ハ皆ツ、シト名ク五月開ク者ハ杜鵑花和名サツキ
 ナリトレンゲツ、シノ花収血不止ニ花蓋生ナル者鼻中ヨ
 塞ク即チ止ム余曾テ驗過ス按ニ諸書躑躅山躑躅羊躑躅ノ
 各名アリ然レトモ躑躅ハ羊躑躅ノ畧稱ナリ躑躅ヲツ、ジ
 トシ羊躑躅ヲモチツ、シトスルハ非ナラン羊其花ヲ喫ヘ
 バ躑躅スト羊ノ躑躅スルヲ以テ名ク羊字ヲ除ケハ何ニモ
 ノカ躑躅スルヤ知ルベカラズ

菴藺 即チ菴藺根ナリ菴藺子菴藺ノミ菴藺草汁莖葉ノシル

戴菜 即チ魚腥草ナリ和名入道クサ 筑前一名地獄ソバ陸奥須賀川
 一名シウヤク京 一名ドクダミ攝津伊豫 一名ボウズクサ莖ニ水
 銀ヲ含ム此實瘡ヲ截ルニ用ユ又耳中腫痛ニ生根ヲ線ニテ
 ク、リ耳中ニ挿ム即チ愈ユ又脱肛ニ根ヲ煎メ徐々ニ洗フ
 神効アリ又根莖葉ヲ厠上ニ置ケハ糞蟲ヲ生ゼズ

商陸 一名蓄根即チ商陸根ナリ和名シヤコスギ 丹州熊野郡一名
 唐ゴボウ古名 香名イヲスヲ一名アテキスエソアリマヨウ
 ル紅毛當陸生當陸用藥須知續編ニ出ツ白商陸白根白花ノモ
 ノナリ赤根赤花ノモノハ毒アリ藥ニ入ベカラズ人ヲ殺ス

鬼針草苗 和名ヲニバリ 一名キツ子ノヤ一名キツ子ノハリ

播摩辰野一名キツ子バリ攝津尼寄一名カラスハリ仙一名ヲニ
 ノヤ安藝山一名センダンクサ越後山一名山タデ山城一名
 キツ子ノヤリ城吉田一名ハサミクサ城小原一名イシクサリ長一名モノ
 ツキ苗ハ土キハヨリ上莖葉ヲスベテ云フ鬼針草苗汁キツ
 子バリノ莖葉ノシル

藟菌和名雲タケ佐渡一フタケ越盧ノ根ニ生ス形松茸ニ似テ

大ナリ斑灰黒色肉白シ生スルコト雲ノ状ノ如シ用ル程切
 テ取ル後ダンク舞出ルナリ藟菌ヲシメジニ丸ルハ非ナリ

地膚子一名地脉和名トウブリ秋番名カルカゲンキ一名キ

インニ紅毛大小蔓特高麗軟條等ノ數種アリ地膚子苗ハ、キ

キノクキ八十年ノ耳聾ヲ治ス

蘿摩即チ蘿摩草和名ガウガメ一名ガバイモ一名チグサ一

名ゴガミツル仙一名トンバウノチ山城講一名シホフキ

關東一名ゴガメ東一名カトリサウ江一名カコメ桑一名ヒコ

ナベ美一名カバミクサ和一名イヤジキ伊一名カラスノモ

チ筑前一作一名ヤフナ出實中ノ絮ヲ血住ト云日本ノパンヤ是ナ

リ灸瘡ニ傳ク生葉ヲ燥キ茹トメ食フベシ實生ナルモノ麩

ニミ纏シ油煎ニシ醬油ニテ煮食フ味佳ナリ獸皮氣及ビ諸臭

氣ヲ去ルニ葉ヲ陰乾シ少許炭火上ニ焚ケバ即チ去ル御藥

集成方ニ女青一名蘿摩ト神代卷ニ黑蘇ヲガバイモトス並

ニ誤ル蘿摩子ガバイモノミ

白頭翁 一名野丈人 **和名** コモノヒザ 仙臺 一名カハラバト 同一

名ラカンサウ一名キツ子コシク 備後庄村 一名チンコハナ 信濃上田

一名チゴバナ一名傾城草 備中 一名ウバカシラ 越中 一名チゴノ

コイ河 參 一名ツハフキ 備前 **番名** ホルサラユフ 紅白頭翁根白頭

翁ノ子

石蒜 **和名** シビトバナ 京伊勢 一名テアキバナ 丹波篠山 一名狐ノタ

イマツ 敦賀 一名曼殊沙花 京 一名シビラ一名狐バナ 播磨 一名天

蓋バナ一名ステゴハナ一名彼岸ハナ 肥前小城 一名舌コジケ 伊賀

南 一名キツ子ノイモ 山城下久世村 一名觀音草一名狐ノ扇 美濃 一名

牛ヲヒ 同上 一名ミカンクサ 紀伊 一名目ナシイモ 山城北岩倉 一名イ

ツトキハナ 周防 一名三昧バナ一名シユツ花 因幡 一名テタヤリ

ハナ 能登 好ンテ田野墓原ニ生ス 紀伊 ニテ此葉ヲ以テ蜜柑ノ

下敷トス伊勢松坂ニテ根ヲヘソビ花ヲ下敷花ト呼フ種樹

家ニ曾テ白花ノ者アリ根ヲ擦シ打撲傷損ニ傳ク又石及ヒ

帛ヲ接ニ不離又自然池ヲスルニ此根ヲ以テ地ヲ固ムレバ

水洩レズ

慎火草 即チ景天ナリ **異名** 墻頭草 廣筆記 **和名** イチヤクサ一名

イキクサ一名シ、フキサウ 江戶 一名クレクサ一名テキリク

サ莖ニ水銀ヲ含ム拔テ日乾シ年ヲ經テ再ヒ植レバ復活ス

故ニ屋上ニ植ヘテ火ヲ防ク因テ慎火戒火鎮火ノ名アリ又
 ベンケイサウハ葉圓シ丹波龜山ニテ血住グサト呼フ又春
 ノキリンサウハ花黄ナリ莖ベンケイサウニ似テ葉ニ鋸齒
 アリ葉ウスクヘゲル此皮ヲ以テ金瘡ヲ卷ケバ血住ル是亦
 景天ナリ又熊野ヨリ出ルミセバヤ及ヒ高麗水仙馬齒苋俱
 ニ莖ニ水銀ヲ含ム是蔓生ノ景天ナリ又岩レンゲ亦景天ナ
 リ以上數種小兒丹毒ヲ治ス錦囊秘録ニ治火瘡ト云ヘリ八
 閩通志福州府下云戒火人家用瓦缶植之云以警火瘡瘍全書
 云鎮火草即瓦花ト又慎火樹アリ

蒼耳 一名常思草 一名藁耳 和名メナモミ 京一名イトロベ 播磨

一名イシミノ 古訓 蒼耳苗 苗ハ莖葉枝ヲ云藁耳葉メナモミノ
 ハ乾地刈取藁耳葉カハキタル土地ニ生ジタルヲカリトリ
 タルハ蒼耳根莖苗子莖葉枝ヤミ共ヲ云蒼耳子メナモミノ
 ミ子油ニ搾リ火ヲ點シ水中ヲ照スニ滅セズト蒼耳子灰 灰
 ハクロヤキ繩中蒼耳故繩中藁耳子同シ毛繩ノ中ニアルミ
 戴甲蒼耳生出ノミヲイタバキ出タルナリ蒼耳甲同シ山蒼
 耳山生ノモノナリ

藍 即チ藍草ナリ山城東寺上品阿波次之攝津ニモ作ル藍汁
 アイノシル藍子アイノミ藍子汁アイダ子ノシル八月藍葉
 八月ニ採タルアイノハ藍葉根實汁アイノ葉ト根ト實ノシ

ル秦州記食貨志云歲馬藍今為靛者青蒲縣志藍俗名青秧又
山藍アリ天子即位ノ時御忌衣ヲ染ルニ用ユ紀伊熊野神倉
ヨリ獻ズ山城八瀬谷東福寺通天橋下松尾山中ニモ生ズ高
五六寸許ナリ又藍菜アリ別ニ出条ス

青黛 一名藍青藍青汁青黛ヲ水ニテトキタルナリ真波斯青
黛上品ナリ青黛市家卷青黛ト呼モノ上品ナリ又多ク藍淀
ヲ以テ假充ス

葛根 [和名]クズ一名イノコ 嶽漢ハ家葛野葛ノニアリ又毒草
ニ野葛アリ名同物異ナリ葛一枝三葉ナリ和泉信田森ノ者
ハ葉皆翻轉メ背ヲ見スト云ヘリ又陸奥岩瀬郡中宿村岩瀬

ガ森ノ者相傳フ若^モ四葉著ク年ハ豊年ナリト古歌ニ陸奥ノ
イハセカモリノ四ツクツト讀メリ葛粉葛白屑同シ大和菅
野村ニテ製シ吉野へ出シ貨ル吉野葛ト呼ブ若狹熊川ヨリ
モ出ス並ニ上品ナリ市中麩粉ヲ雜ユ宜^ク擇用葛汁葛根汁生
葛汁同シ葛根ノシル生葛生葛根同シ生ハナニナリ葛花葛
草花同シクズノハナ葛蔓クズノツル

瞿麥 [和名]カハラナデシコ一名チヤセンバナ ^{仙臺}藥ニ入ニハ
野生ヲ用ベシ石竹 [和名]トコナツ又阿蘭陀石竹ハ即チ石菊
ナリ [番名]ノビスマ石竹花至テ大ナルモノ徑リ二寸ニ及ブ
山瞿麥山生ノモノナリ按ニ山當^ニ作^レ生^ル字ノ誤ナリ

甘遂

和名 ナツノトウダイ 江本經 甘遂味甘字書ニ田間水道

曰遂ト甘遂味甘ク利水ノ功アルヲ以テ名ク漢渡アリ又漢

種 官園ニアリ和産大葉小葉ノ二種アリ種樹家小葉ト云

モノハ小葉ノ大戟ナリ棒様ト呼モノモ大戟ナリ又指頭ノ

如キモノアリ小葉ノモノハ稀ニアリ太山甘遂太山ノモノ

ヲ良トス

大戟

和名 ノウルシ 山城 一名サハウルシ 同上 一名ナベワリ 仙

一名狐ノチ、澤漆ノ根トスルハ非ナリ大戟ハ根アリ澤漆

ハ根ナシ漢土ヨリ綿大戟一名紫大戟一名紅芽大戟トテ來

スモノアリ紫トハ初生ハ紅ク淡紫色ナリ故ニ名ク今根ニ

蘇木汁ヲ塗り來ス洗去テ用ベシ綿トハ柔ナルヲ貴ブ故ニ

名ク市家ニ和ノ大戟ト呼モノハ野苧麻根ナリ用ベカラズ

大戟凡ソ四五種アリ山城ニ一種東國ニ一種西國ニ一種又

熊野山中ニ岩大戟アリ本草左券ニ詳ナリ

澤漆 即チ澤漆根ナリ **和名** 山フリクサ 一名ニコノチ、一名

子コノメ 前備 三種アリ一ハ紫莖綠葉紅花一ハ綠莖綠葉綠花

一ハ山城貴船岩屋山中石上ニ生ズ矮小ナリ花似猫眼江戶

貝殼山ノ者ハ大ナリ綱目ニ澤漆嚙人ト云モノハ大戟ナリ

澤漆ニ非ラズ澤漆葉トウダイクサノハ

羊桃 木ヒヨドリ上戸トスルハ非ナリ又按ニ桂海果志ニ五

稜子閩中謂之羊桃與此同名

防葵

數種アリ一ハ和名キバウフウ一名牡丹人參一名御赦

免人參一名カモジ人參一名五島防風ナリ一ハ和名濱防風

一名伊勢防風ナリ一ハ和名清政人參ナリ和俗朝鮮人參ト

呼ブモノナリ一ハ芥ニ似タルモノナリ並真ナリ用ベシ

菘若

未詳此物毒無シ毒アルハ水菘若ナリ綱目ハ水菘若ノ

主治ヲ混シ出入紹興校定本草菘若ノ圖全ク今ノ煙草ニ似

タリ月令廣義ニ虎茄即チ藥中ノ天仙子ト即チ菘若ナリ菘

若ノ名解張太岳集ニ見ユ東壁ト異ナリ或人云和名ヲメキ

クサ江一名ヤメサナ肥ツ桔梗後一名ハシリトコヒト云モ

ノ是ナリト菘若子菘若ノ三菘若根菘若ノ子

恒山 蜀漆恒山即チ常山用藥須知ニ出ツ常山證類本草ニ四

種ヲ出ス漢土ヨリ來ルモノ根青シ雞骨常山ハ根ガクシヤ

クシテ形菱ノ如シ葉似楸ト云モノハ臭梧桐ナリ和名クジ

ウ伊豫宇和島山城天台常山三種アリ一ハフシグロ一ハベ

ニガク一ハ用藥須知ニ出ツ又唐クサギアリ薩摩ニアリ琉

球ノ産ナリ品最高シ蜀漆即チ蜀漆葉常山ノ葉ナリ別録ニ

常山苗トシ李含光ハ莖也トス

五味子 南五味子北五味子ノ二アリ南五味子用藥須知ニ注

ス和名ドランジキ近江江頭花單瓣小梅花ニ似テ黄色鮮明ナリ

實皺アリ小ナリ毬ヲ成ス北五味子ハ毬ヲ成サズ市家朝鮮
ト云ハ薩摩ヨリ來ル實ヌンメリトメ皺無シ薩摩越後陸奥
出羽和泉ニアリ和名松フサ一名牛ブドウ仙臺番名チカワラ
ヤハラウル蔓ヲ作メ生ズ好ンデ山中松樹ニ纏フ形甘草ニ
似テ皮赤ク手ニテ接メバ皮脫ス中心ニスアリ内白黃ナリ
味甘香シ秋田ノ人莖ヲ水ニ浸シサ子カツラニ代用ユ粘滑
アリ

芽香 和産無シ

五葉藤 一名赤葛即チ五爪龍ナリ和名ヒサゴツル一名ヤイトバナ一名キシムシロ和名鈔ニヘウソカツラトスルハ非

ナリ瘰癧ニ莖葉ヲ膏トシ傳ケ陰乾メ煎服シ生葉ヲ茹トメ
食フ妙ナリ一醫誤テ葎草ヲ用テ治セリ葎草モ亦主治同ジ
赤葛根ヒサゴツルノ子

蔞草 蔞ハ芮字ノ誤ナリ芮草和名ミノゴメ和一名ミノクサ
一名穢多ムギ山城白川山ニアリ水中ニ生ズ

葎菜 和名キノコ一名タケ一名ナバ伊豫建陽縣志云葎俗呼

香菰樹木生者為葎地生者為菰為菰也有數種惟榛菰佳然
レモ松葎モ地生ナリ葎菌通呼スベシ八閩通志福州下云爾
雅葎亦名菌俗謂之菰ト此説是ナリ

紫葛 葛ニ似テ莖葉紫色ナリ莖ニ蟲無シ煎汁ヲ以テ腰痛ヲ

洗フ神驗アリ葉ヲテイリコント名ク

藍菜 未詳

狗脊

[和名]クサソデツ或人云鬼ゼンイ犬ゼンイノ類ナ

リト狗脊金毛ノ者良シ山城白川山ニアリ金瘡出血不止ニ

金毛ヲ傳ク即チ止ム或人又云狗脊山ソデツクサソデツノ

二種アリト

款冬花

[和名]フキノタウ味開ヲ款冬苞ト云款冬**[和名]**フキ一

名フバキ一名水ブキ同名ト一名山ブキ水地ノ二種アリ地フ

キハ長大ナラズ水フキハ長大ナリ然レドモ地フキ南部ノ

者ハ莖葉大ニメ葉ヲ以テ馬衣トスベシト款冬鹿誤テコレ

ヲ食ヘバ角落ツ綱目橐吾ヲ款冬ノ一名トス悞ル橐吾ハ和
ニツハト呼ブ史游急就章ニ半夏皂莢艾橐吾又云款冬貝母
薑狼牙ト分チ出セリ

苧麻

[和名]ゴザイバ梓ト同名ト二種アリ大和郡山ノ者ハ葉長ク毛

無シ東國ノ者ハ葉桐ニ似テ毛アリ昔シ破故紙ニ丸ツ誤ル

江戸ソハ此皮ヲ剥キテ作ス重修太平府志云白麻自城以達

于郷無家不植皆以織網製鞋因婦女不攻蚕絲不績麻葉而專

于此也他州為索綯之用白麻子白麻ハ苧麻ノ一名ナリ

落葵

[和名]タマムラサキ一名アカハナ同名吳氏食物本草云

落葵即藤若達食此菜後被狗咬即瘡不瘥也

芥菜 食芥同ジ 和名カラシ俗悞テケシトシ芥子納須彌ト云

ヲケシツブトス芥種類多シ皺葉芥常芥ヨリ極メテ大ナリ
葉面ニ皺文アリ花白色山城東寺多種エ菜店へ出シ賣ル王
世懋が瓜蔬疏ニ春不老ト名ク白芥子入藥用所謂治皮裡膜
外癢ト云モノナリ紫芥ハラサキカラシ花芥ハ葉ニ切レア
リ石芥ハ小芥ナリ即チ小芥子ナリ芥藍ハカラシノ莖ナリ
夏月其莖ヲ折リ茹トメ茹フ本草有名未用ニ芥アリカラシ
ニ非ラズ未詳

焯菜 和名山葵一名ワサビ一名センノフ 秋處處々深山中生
ズ今攝津三田ヨリ多ク京師へ出ス初生菜圓シ長ズルニ及

テ狭長ナリ甚々芥葉ニ似タリ根地黄石菖蒲ニ似タリ實カ
ラシノ如シ救荒本草ニ山芥菜ト名ク東璧救荒本草ノ辣米
菜和名タンカラト云モノヲ以テ焯菜トス悞レリ朱子所好
ノモノハワサビナリ正字通云焯菜好生高山泉源石上與石
菖蒲一類李時珍謂為田園小草非也朱晦菴飲後以焯莖供蔬
有焯詩ト此説是ナリ楊廷秀亦詩アリ近ゴロ阿蘭陀カラシ
アリ焯菜ノ類ナリ又種樹家ニハナワサビアリ葉野菊ニ似
テ香氣アリ按葉ワサビノ氣アリ花亦菊ニ似テ紫色是ワサ
ビノ類ニ非ラズ

馬蘭 未詳疑クハ馬蘭或ハ馬蘭ノ誤ナラン馬蘭ハ蘭品ニ見

ユ馬蘭ハ即チ上ノ蠶實ナリ

苜蓿 説上ノ百脉根ノ下ニ見ユ

水英 水菜亦タ水英ト名ク與此同名此物水田中ニ生ス葉ハ海

荏ニ似タリ花實ハ牛蒡ノ如ク莖ニ刺アリ

飛廉 和名ヲニユハキ一名カハヅアサ形全ク薊ニ似タリ

莖ニ衛矛ノ如キ箭筈アリ刺ノ如シ多ク白花ナリ

菘蓉 即チ菘蓉一名花菘蓉和名ハニウツボ并荒井海濱攝津

綱敷天神ノ祠下播摩明石ノ沙地ニ生ス夏枯草ニ似テ莖ニ

鱗甲アリ根松茸ノ如シ花紫ナリ至秋ニ枯ル又白花ノ者アリ

肉菘蓉 和名ヲガサタケ一名キムラタケ日光一名ナンバンギ

セル山城 華渡ヲ用ベシ或人云日光山中ニ生ズ三四月ニ生

ズ形天麻莖ニ似テ粗大鱗甲アリ花亦天麻ニ似タリ徑リ寸

餘長一尺餘讚岐香川郡安原村ノ産亦同シ又備前ニ土人ニ

△シタケト呼モノ草ニ似テ草ニ非ラズ草類ニメ華渡ノ肉

菘蓉ニ似タリト云ヘリ市家云日本ノ肉菘蓉ハクサソテツ

ニ鹽ヲ以テ壓扁シテ假丸スト云ヘリ

使君子 駿河久野ノ原野ニ生ズ葉圓ク長二三寸五瓣ノ淺紅

花ヲ開ク松本仙翁ニ似タリ實梔子ノ如シ又漢種 官園ニ

アリ

大薊小薊 小薊汁小薊ノシル生薊根生ハナニ刺薊汁大薊ノ

シル小薊刺ナシ葉ニ刻缺ノ大ナルヲ大薊トシ刻缺ノ小ナルヲ小薊トス

芫蔚 一名大札即チ益母ナリ **和名**ニハヨモギ **番名**ハルヘイ

ナ 紅證治準繩胎前門反魂丹方中云赤箭即野天麻葉似艾葉

開紫花如紅蓼花又名益母草又名大札又温州志云益母一名

赤箭ト是赤箭野天麻ノ名アルヲ以テ悞リタルナリ按ニ芫

蔚一名火杖證類本草火杖作大札又藥性要畧ニ大札益母也

ト蓀蒼亦火杖ト名ク益母三種アリ一ハ尋常所有モノ一ハ

細葉一ハ白花ナリ原野處々多ク生ズ馬鞭草ニ似タリ但花

穂ヲ成サズ葉ノ本ヲ繞テ生ズ 日南山中ニ生ズ三四尺ニ至

細辛 杜衡杜衡細辛ノ説用藥須知ニ出ツ細心華本ニ心作辛

字ノ悞ナリ北細辛ハ遼東ノ細辛ニメ上品ナリ細辛和産ハ

南部亦上品ナリ近江ヨリ出スハ加茂葵ナリ根大ナリ真細

辛ハ葵カツラノアフヒニメ根小ナリ又漢種 官園ニアリ

又鹿蹄草河内三箇村土人山細辛ト呼ブ

貝母 **異名**空菜 藥性 奇方 **和名**ハツユリ 同名一名ハルユリ一名子

ズミユリ大小二種アリ今用ユルモノハ小ナリ葉初生ハ蕎

麥葉ニ似タリ長ズレバ藪菜葉ニ似タリ柔ニメ光アリ葉莖

ヲ捲テ出ツ百合ニ近シ故ニユリノ名アリ根大蒜ニ似タリ

或人云貝母和名アミガササウ河内方言メギハ一名メグハ

イト呼ブ出雲風土記ニ出タレバ和産久シキコトナリト此
説悞ルメグハイハ山慈姑ナリ大貝母ハ即チ象山貝母ナリ
先君子曰加賀山中ニ土人山カブト呼モノアリ蕪菁ニ似テ
大ナリ即チ象山貝母ナリ

白蒿 一名鼠麴 即チ佛耳草ナリ 和名 カハラハ、コ 一名モチ

ハナ 豊後 一名カウシブツ 肥前 番名 ハトウルカミノル 一名

ハメノウル 一名メリラウト葉狭ク硬シ又葉面青ク背白メ

陰地ニ生スルアリ俱ニ一物ナリ茵陳亦白蒿ト名ク又佐渡

ノ白ヨモギ一名ハミヨモギ亦白蒿ト名ク

千金方藥註卷之二終



